

**第14回会議** **報告事項** **別紙**

**西伯町・会見町合併協議会**

**平成15年10月28日**

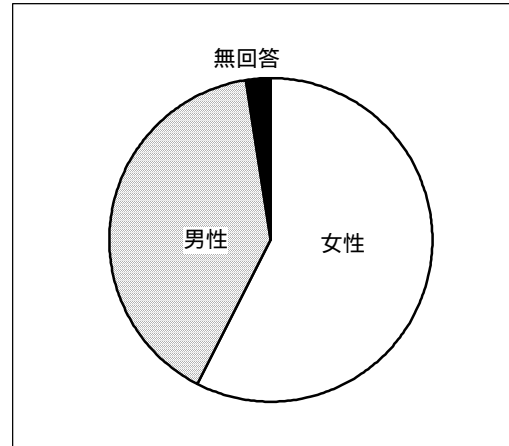
# 西伯町・会見町合併協議会アンケート

回答数:523/1,000 通 回答率:52.3%

## あなた自身について

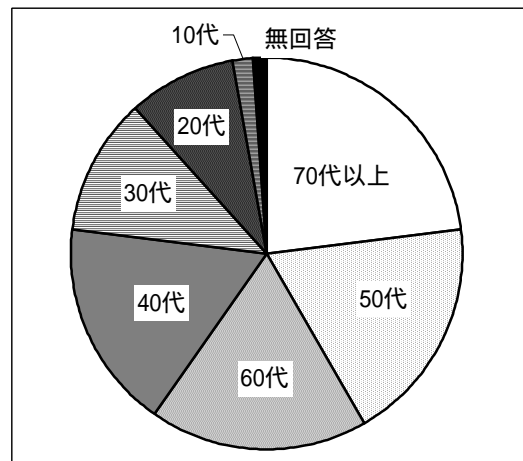
### 1. あなたの性別をお答えください

女性	301	57.6%
男性	209	40.0%
無回答	13	2.4%



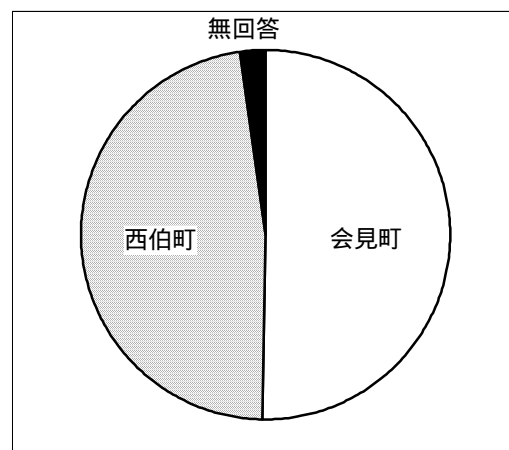
### 2. あなたの年齢をお答えください

70代以上	121	23.1%
50代	97	18.5%
60代	95	18.2%
40代	90	17.2%
30代	59	11.3%
20代	46	8.8%
10代	9	1.7%
無回答	6	1.2%



### 3. 今お住まいの町をお答えください

会見町	263	50.3%
西伯町	248	47.4%
無回答	12	2.3%



4. あなたの職種をお答えください

会社員	132	25.2%
無職	101	19.3%
農業	86	16.4%
パート・アルバイト	42	8.0%
家事従事者	41	7.8%
公務員	40	7.6%
自営業・会社経営	33	6.3%
学生	9	1.7%
その他	24	4.6%
無回答	15	3.1%

その他 医療関係 3名/団体職員 3名/編集他/独居老人/商工会職員/主婦/独居老人  
専門職/大工/畑仕事/林業/82歳ですので農業をしています。/83歳ですので家  
にいます。/無記入

## 新しい町の名前について

1. 新しい町の名前に良いと思われるものを次の中から選んで をつけてください。

( は1つ)

会西町 あいさいちょう	109	20.8%
さいあい町 さいあいちょう	60	11.5%
会見町 あいみちょう	47	9.0%
西伯耆町 にしほうきちょう	44	8.4%
美里町 みさとちょう	32	6.1%
会桜町 あいおうちょう	26	5.0%
桜花町 おうかちょう	25	4.8%
南部町 なんぶちょう	24	4.6%
美郷町 みさとちょう	24	4.6%
愛彩町 あいさいちょう	17	3.3%
伯南町 はくなんちょう	14	2.7%
桜柿町 おうしちょう	13	2.5%
あいみ町 あいみちょう	12	2.3%
夢見町 ゆめみちょう	10	1.9%
会見郷町 あいみごうりちょう	9	1.7%
平成町 へいせいちょう	6	1.1%
神桜町 しんおうちょう	5	1.0%
南郷町 なんごうちょう	5	1.0%
南部町 なんぶまち	5	1.0%
その他	10	1.9%
無回答	26	4.8%

その他 西伯町/西伯郡だから西伯町が良い/特にない!!何故西伯町がないのか?/いずれも暗い名前で記入いたしません。今さらですが学者等の意見を聞かれてはいかがでしょうか。/合併が決まっていなのに新しい名前を決めるのはおかしくありませんか?/全町民による公募すべし/どれもピンときません。ひらがなの町名はやめてください。/私の意見として、さわやか町にしていきたい。

(さいあい町で) 西会町 5名

(夢見町で) 名前のような町にしたい

(あいみ町・会見町について) 西伯町・さいはく町がないのにこれはおかしい!!

西伯町民で支持の多かったもの

さいあい町(49)、会西町(48)、西伯耆町(30)、桜花町(19)、美郷町(13)

会見町民で支持の多かったもの

会西町(61)、会見町(46)、美里町(20)、南部町(19)、会桜町(17)

## 合併後の将来像について

1. あなたがお住まいの地域で、今後どのような分野に力を入れていくべきとお考えですか。

次の中から選んで をつけてください。( は3つ以内 回答数:1390)

保健・医療サービスの充実	180	12.9%
学校教育・子育て支援の充実	152	10.9%
高齢者福祉や障害者福祉	150	10.8%
道路・バスなどの交通網整備	131	9.4%
人口の増加・定住への対策	119	8.6%
企業誘致などの産業振興	102	7.3%
ゴミ処理などの生活環境整備	98	7.1%
CATV などの情報通信基盤整備	94	6.8%
森林・河川などの自然環境保全	93	6.7%
消防・防災などの生活安全対策	62	4.5%
農林業の振興	58	4.2%
文化・スポーツ施設の広域利用	42	3.0%
観光振興	33	2.4%
各種講座・研修会などの生涯学習	22	1.6%
わからない	13	0.9%
その他	10	0.7%
無回答	31	2.2%

その他 飲食店・コンビニ等の建設/各部落の委員を減少させる。町民は役場のまかないではない。/行政サービスの向上/携帯サービスエリア町内全域拡大、光ケーブルの町内全域配線/現行のままでよい。合併しなくてもよい/公害防止対策/町特産品/福祉とは異なる高齢者及び居住者の為の生活基盤整備(商店等)/文化を大切にする/若者出して老人だけのこす、これは不公平だ。

(他) 特に学校バスの充実を。/若者に町内定住できる様。

2. 合併の効果について、どのようなことが期待できるとお考えですか。次の中から選んでつけてください。( は1つ)

特別職・議員の減少によって、経費の削減を図ることができる	204	39.0%
地域で一体的なまちづくりができる	65	12.4%
公共施設の有効利用が可能となる	53	10.1%
職員の配置などにより、より専門的な行政サービスが提供できる	32	6.1%
両町の地域資源が連携し、イメージアップにつながる	29	5.5%
予算規模が拡大し、重点的な投資ができる	24	4.6%
地方分権への対応が十分にできる	22	4.2%
その他	35	6.7%
無回答	58	11.4%

その他 わからない 5 名/無記入 2 名/期待していない 10 名/あまり期待していない。  
/なし。効果がみえません。/むずかしくてわからない。今のままであまりきたいしていない。/メリットなし/あらゆることに可能性が広がる。/合併が本当にいいものかわからない。/合併はあまりさんせいではない。/期待することは会見の考え方がどういう方向で我々西伯町民に効果をもたらすかということだと思います。経済面は低下すると思いますから！/現在効果は期待できないが、町民が町づくりを自分の問題として本気になれば住み良い町にはなっていくと思う。/自然環境保全及び生活環境整備・農林業の振興に期待。/選択項目は当然のことであって期待する事項がない。/地方分権への対応が十分にできるわけではないけれども、分権への足がかりにはなると思う(あとは財政問題)/特別交付税による減税対策。/どちらともいえない。/何十年か先に米子市との合併を迎えると思う。その為に「米子市には無い特色をこの地域に作る」という「目的」が発生するだけでも良い。/他の市町村に負けられないように頑張ってもらいたい。/町の規模が大きくなると、人々のつながりが薄れてくる。/米子市とならまだしも、西伯町と会見町の合併での大きな利点がいまいちよくわからない。/

(他) ほんとうに期待できるのでしょうか。/会見町と合併しても別にメリットがあるとは思わない。/

3. 合併の影響について、どのようなことに不安を感じておられますか。次の中から選んでつけてください。( は1つ)

公共料金が高くなり、住民負担が増える	114	21.7%
町の面積が広くなり、きめ細やかな行政サービスが出来なくなる	102	19.5%
住民の一体感や連帯感を育むのに時間がかかる	77	14.7%
中心部と周辺部の地域格差が広がる	65	12.4%
役場が遠くなり不便になる	38	7.3%
町の名前や地域文化、伝統などの地域性や個性が失われる	36	6.9%
施策に関する住民の合意形成が難しくなる	35	6.7%
その他	17	3.3%
無回答	39	7.5%

その他 わからない 2 名/なし 3 名/特に不安を感じていません。/不安はない。/・変な町名になること。あまりどちらかの町にかたよったものは受け入れられない。・予算が拡大しても、それをうまく利用できずさらに田舎になるようで不安。/合併してどの様になるのかわからない事に不安 ~ の様な事になるのですか?/合併は反対。/経済的な自立がむつかしくなる。/財源が乏しいので、住民負担が増す。/将来的に高齢化が進むのに、若者が新町に居住する魅力が感じられるか。/税金、その他、すべてにおいての住民負担! /体質的に似た者同士の合併には将来的な期待は出来ない。(住民参画お町づくりを目指すと言いながら、住民の声を無視するやり方) /2町の対立が続く。/無記入

(他) 役場の場所がどこになるのかわからないが、不便になりそうで不安

### コミュニティバスの運行について

1. あなたは車の免許を持っていますか

持っている	372	71.1%
持っていない	136	26.0%
無回答	15	2.9%

2. あなたは自分の車を持っていますか

持っている	347	66.3%
持っていない	82	15.7%
持っていないが家にある	73	14.0%
無回答	21	4.0%

3. あなたの自宅からの主な移動手段は何ですか。次の中から選んで をつけてください。

( は2つ以内 回答数 712)

自分で運転する車	352	49.4%
自転車	81	11.4%
人に乗せてもらう車	79	11.1%
一般の路線バス	66	9.3%
徒歩	42	5.9%
原付・バイク	33	4.6%
タクシー	27	3.8%
町の福祉バスなど	10	1.4%
その他	6	0.8%
無回答	16	2.0%

その他 家族に乗せてもらう 4名/家の車/家族は免許がない

4. 上の問いで6、7以外を選んだ方にお聞きします。あなたがバスを利用しない理由は何ですか。次の中から選んで をつけてください。( は2つ以内 回答数:615)

バスの便数が少ない	165	26.8%
必要ない	108	17.6%
目的地に向かうバスがない	90	14.6%
バス停が遠い	49	8.0%
バスが通っていない	48	7.8%
その他	50	8.1%
無回答	105	17.1%

必要ない理由 車が運転できるので 74名/車のほうが移動に便利 7名/家族に車に乗せてもらう 5名/あまり遠くへは出ない。近くは自分で運転できるから。/今のところは必要ない。/外出しない。/遠くは車を使用。近くは自転車を使用。/病院がちかいから。/病気の為。/不便(バスの便数が少ない)/無記入 15名

その他 運賃が高い 13名/自家用車がある 6名/家に車を運転する人がいるから 4名/車が便利 4名/時間が自由。/足が不自由。/歩行が不自由のため家族の世話になる。/車いすが使えない。/時間を束縛される。/自分で運転するから必要な時はバスを利用する。/自由自在に動き回る事が出来ない。不便・高価。/設問が悪い。必要な時には使っている。/タクシーを利用する。/町外への移動がほとんどで使えない。/何かと不便である。/荷物を運ぶ時に便利、時間にしばられない。/乗せてもらう人がいる。/バスの乗り換えの必要あり。/不便。/便利性。/無記入 5名



5. 住民の移動手段として、新町域でコミュニティバスを運行することについて、どう思われますか。次の中から選んで をつけてください。

必要である	333	63.7%
どちらともいえない	126	24.1%
必要ない	38	7.3%
無回答	26	4.9%

(どちらともいえないで) 有れば便利とは思いますが、実際に運用して見ないとわからない。/

(無回答) 私には必要ないが、老人の方には便利だと思う

6. あなたあるいはご家族がコミュニティバスを利用されるとしたら、主にどのような場所へ行くのに利用されますか。次の中から選んで をつけてください。( は3つ以内 回答数:1249)

病院等の医療機関	384	30.7%
買い物	225	18.0%
役場	176	14.1%
銀行・郵便局	161	12.9%
通勤・通学	70	5.6%
福祉センター	57	4.6%
図書館・公民館	38	3.0%
スポーツ施設	32	2.6%
知人・友人の家	31	2.5%
観光	31	2.5%
その他	11	0.9%
無回答	33	2.6%

その他 該当なし 3名/今のところ使用する予定はない。/利用しないと思う。/飲み会。  
/必要な家庭への助成制度。/わからない。/無記入 3名

7. あなたあるいはご家族がコミュニティバスを利用されるとしたら、どの程度利用されますか。次の中から選んで をつけてください。

i 利用日 (回答数:653)

平日	281	43.0%
休日	151	23.1%
わからない	147	22.5%
無回答	74	11.4%

利用時間帯（平日）（回答数：441）

午前中	167	37.9%
朝（～9:00）	128	29.0%
午後	91	20.6%
夕方（17:00～）	55	12.5%

利用時間帯（休日）（回答数：216）

午前中	88	40.7%
午後	75	34.7%
朝（～9:00）	28	13.0%
夕方（17:00～）	25	11.6%

8. あなたがコミュニティバスを利用されるとしたら、運賃はどの程度まで負担できますか。次の中から選んで をつけてください。

100 円	249	47.6%
200 円	150	28.7%
300 円	40	7.6%
その他	17	3.3%
無回答	67	12.8%

その他 無料 8名/50円 2名/100円 1名/150円 1名/500円 1名/980円 1名/運行形態によってちがうと思います。/距離により多少の格差をつける。/助成制度として1/3程度

9. あなたがコミュニティバスを利用される場合に希望されることは何ですか。次の中から選んで をつけてください。（ は3つ以内 回答数：1281）

低料金での運行	236	18.4%
十分な運行便数	215	16.8%
運行路上の自由乗降	209	16.3%
バス停が近い	207	16.2%
安全・安心な走行	95	7.4%
運行ダイヤの厳守	57	4.4%
高齢者等の運賃割引	54	4.2%
無料での運行	47	3.7%
乗降時の介助	39	3.0%
余裕のある座席	30	2.3%
快適なバス停の整備	22	1.7%
その他	11	0.9%
無回答	59	4.7%

その他 あまり利用しないので分からない。/運行ダイヤを多く。/子ども達の運賃割引。高齢者は年金があるので論外！/乗降し易い(高齢者、障害者でも)安全なバスを使用して欲しい。例えばローステップなど。/ノーステップの車。/町内だけを走る為だけではなく、他交通機関との接続が出来る事。/定期バスとの連携。/無し。/日の丸バス運行外の利用。東長田線は7時で終わり、8時位までほしい。/不便を感じない(今のところは自分達で出れるから)/米子駅までの便を一部設定

## 地域情報化の推進について

1. あなたのご家庭では、町政に関する情報を今後どのような手段で入手したいと思いますか。特に利用したいと思っているものを選んで をつけてください( は3つ以内 回答数:1231)

町広報誌・議会報など	360	29.2%
防災行政無線	296	24.0%
回覧板・その他パンフレット	211	17.1%
CATV(ケーブルテレビ)	121	9.8%
テレビ、ラジオ	69	5.6%
インターネット	64	5.2%
新聞、雑誌	38	3.1%
役場への問い合わせ	30	2.4%
携帯電話単体でのインターネット(i-modeなど)	23	1.9%
知人、友人から	14	1.1%
その他	1	0.1%
無回答	4	0.5%

その他 家族から

2. 各テレビ局の受信状況についてお尋ねします。該当するものに をつけてください。

NHK 総合(鳥取)

良好	324	62.0%
やや見にくい	124	23.7%
映らない	27	5.2%
無回答	48	9.1%

NHK 総合(島根)

良好	289	55.3%
やや見にくい	45	8.6%
映らない	73	14.0%
無回答	116	22.1%

NHK 教育

良好	401	76.7%
やや見にくい	44	8.4%
映らない	7	1.3%
無回答	71	13.6%

山陰中央テレビ

良好	319	61.0%
やや見にくい	126	24.1%
映らない	18	3.4%
無回答	60	11.5%

日本海テレビ

良好	359	68.6%
やや見にくい	97	18.5%
映らない	9	1.7%
無回答	58	11.2%

山陰放送

良好	408	78.0%
やや見にくい	51	9.8%
映らない	7	1.3%
無回答	57	10.9%

3. CATV（ケーブルテレビ）がどのようなものか、ご存知ですか。次の中から選んで をつけてください

ある程度は知っている	203	38.8%
あまり知らない	135	25.8%
よく知っている	89	17.0%
全く知らない	63	12.0%
無回答	33	6.4%

4. CATV（ケーブルテレビ）の整備を希望されますか。次の中から選んで をつけてください

希望する	248	47.4%
わからない	162	31.0%
希望しない	64	12.2%
その他	4	0.8%
無回答	42	8.6%

その他 希望するが ADSL などでも良い。/必要と思うが時期は合併してから考えたい。

/費用がかかるなら、急いで整備しなくてよい。/無記入

（わからないで） いいということになれば希望したい。

5. 上の問いで1を選択された方で、「希望する」を選ばれた最も大きな動機を次の中から選んで をつけてください( は2つ以内 回答数:449)

視聴可能なチャンネルが多い	135	30.1%
地元専用チャンネル等で地元情報を見たい	101	22.5%
インターネット接続の利用	55	12.2%
区域外チャンネルが見たい	53	11.8%
テレビ映りがよい	44	9.8%
地上デジタル放送の対応のため	34	7.6%
アンテナが不要	24	5.3%
その他	1	0.2%
無回答	2	0.5%

その他 現在の共同受信では効率が悪い、地上デジタル波でお金をかけなければなら  
ないのならば、CATV としてお金をかけたい

6. CATV(ケーブルテレビ)が導入された場合、行政情報としてあなたが必要とする番組は何ですか。次の中から選んで をつけてください( は1つ)

町内ニュース	235	44.9%
災害情報	102	19.5%
議会中継	55	10.5%
気象情報	50	9.6%
政見放送	11	2.1%
その他	11	2.1%
無回答	59	11.3%

その他 ない 2名/不要。/わからない。/映画、ドラマ。/役場各種情報。/無記入 5名

7. あなたはインターネットを利用されていますか、また利用年数はどのくらいですか。次の中から該当するものを選んで をつけてください

利用していない	325	62.1%
3年以上	79	15.1%
1~3年未満	45	8.6%
1年未満	24	4.6%
無回答	50	9.6%

8. 上の問いで1～3を回答された方にお聞きします。あなたはインターネットで主にどのようなサービスを利用していますか。次の中から選んで をつけてください

ホームページ閲覧	121	43.4%
メール送受信	75	26.9%
買い物	38	13.6%
ソフトのダウンロード	34	12.2%
インターネット電話	2	0.7%
その他	9	3.2%

その他 株。/仕事（東京との連絡、データを送る）/情報発信。/天気予報。/ニュース。/文書作成。/無記入 3名

9. 先進地ではインターネットの情報通信技術を活用し、以下のような情報サービスが実現されているところもあります。あなたはどのようなサービスをご利用になりたいとお考えですか。次の中から選んで をつけてください（ は3つ以内 回答数:1130）

診察予約・健康相談	228	20.2%
観光・イベント情報提供	131	11.6%
行政情報の提供	126	11.2%
災害情報	118	10.4%
公共施設情報・予約	104	9.2%
電子申請手続き	78	6.9%
生涯学習講座	73	6.5%
交通情報	47	4.2%
図書館蔵書検索・予約	46	4.1%
育児・教育意見交換	32	2.8%
電子掲示板での意見収集	18	1.6%
その他	12	1.1%
無回答	117	10.2%

その他 今の所必要性を感じていないのでよくわからない。/インターネット取扱いは技術皆無。/インターネットを利用するつもりがない。/株。/スポーツ、ゲーム etc 娯楽。/ニュース、新聞に属するもの。/農・商業情報。/物産情報。/わからない 3名/無記入

10. 今後の情報化社会に対応するため、インターネットの利用方法などの教育について、どのように行われるべきだと思われますか。あてはまるものを次の中から選んで をつけてください( は1つ)

町や県など行政が主体となって教育の機会を設けるべき	157	30.0%
地域で簡単な相談やアドバイスができるボランティアを充実すべき	110	21.0%
学校で教育すべき	109	20.8%
パソコン教室など民間の教育機関を活用すべき	44	8.4%
その他	15	2.9%
無回答	88	16.9%

その他 興味のある人がそれぞれの方法ですればいいと思います。3名/CATV等設備ができるのはもちろんですが使いたい人が自分で努力することも必要です。他人をあてにせず出来ることは自分でしましょう。/一家に一台パソコンを導入する。/学校ではもうやっているの、パソコンを導入された教育を受けていない人(20代後半~)が利用できるようにしてほしい。例えば母親世代のような40代主婦など。/個別随時訪問教育先任者(部署)の新設・採用。/接続環境の改善・推進。/パソコンが使いやすい環境になり、教育の充実は古い考えでやはりパソコンの貸出や、利用料の補助(例えば部落での利用で割引など)を考えた方が普及します。/必要ない。/まずインターネットに興味を持つことが大事であり、CATVなどで一般的にインターネットを利用できる環境を準備してあげることが良いと思う。/町が主体となるべきだが、パソコン教室の開設等ではレベルは上がらない。一般教育ソフトの斡旋を! /わからない2名/無記入

## 枠外記入

- ・ ケーブルテレビ回線でインターネットをしてもどうしようもないです。むしろ反対します。光ファイバーを敷設することで情報・産業・教育等々多方面に可能性が広がっていきます。町をあげて行なうならこちらでしょう。また居住者も若い人が確実に増加するはずで。
- ・ 早くADSLにして下さい。
- ・ 米子市などに比べ、遅れているのがケーブルテレビの施設だと思いますので、是非お願いしたいと思います。
- ・ 米子市と合併すればいいのにね。
- ・ このような大事を町長と一部議員で決めていいのか。住民投票による町民多数の意志を聞く気はないのか。こんなことは町民の意志を無視していることだ。
- ・ 峰線のバス停乗り降りが怖い。孫達の学校乗り降りいつかは何か起こりそうです。道路からなおさないと、大仕事になる・・・バス停の場所考えると・・・何かが起きてからでないと・・・などでは進まない様です。それでは遅い!!そんな所からなおさないとコミュニティバスどころの話ではない!!と思う。間に反則したこと記入してしまいました。

- ・ 私は合併には反対ですが、アンケートに答えます。
- ・ お願い  
税金が高くなっても構いませんから小さな車で良いです。是非とも運行させてください。西伯病院も栄えると思います。  
現在福祉の車を利用して頂き大変感謝しております。買い物等にも利用できたらうれしく思います。  
西伯との合併、米子市との合併どちらでも良いです。でも米子との合併希望がどの位あるのかお知りになって今後の町政に生かされてはと考えます。町長様は右も見て左も見て一方に偏らず天下の公道を生き抜いてください。この後悔を残されないことを祈って止みません。
- ・ 車の免許のない方、体の不自由な方がどこかに行きたい時に困ると聞いているので、ぜひ路線バスの通らないコースに特に必要と思う。お年寄りが出る機会が少なくなり元気がなくなる
- ・ 米子市と合併したいと言う人もいるのにどうして投票をしないのですが、何の説明もなくどんどん西伯町との合併へ向けて話を進めていくのに不満を感じます。米子市との合併に向けて頑張っている人の努力は無駄になるのですか？町民にわかるように説明をしてください。



まちづくり委員会

# 話し合いの記録

## 分野別整理

平成15年7月11日(金)

と

平成15年9月10日(水)

総務企画部会

住民福祉部会

産業経済部会

建設水道部会

教育部会

## 新町まちづくり委員会 総務企画部会 分野別整理

### 【安全な生活の確保】

#### 防災対策の推進

ボランティアコーディネーターは確かに必要。加えて、ボランティア活動のマニュアル的なものを入れた方がいいのではないか。

行政防災無線云々の表現があり、ほかの項目の方にCATVが若干触れてあるが、特に合併という特別な事情の中で、全部の項目に共通して一番大事な情報の共有化に最もウエートを置くべき。

例えば中部の町村では、例えば議会の中継、町長の会見もテレビで流れる。

確かに金がかかるが、ぜひそういうものが一つ欲しい。

町民が足を運んで議会傍聴に行くのも大事なことだけど、それをテレビで流すということも大事。

携帯電話を使ってまがりなりに応用しているケースがたくさんある。いつ起こるか分からないものにお金を使うことはない。

防災無線に重点を置くのではなく、ほかのところに重点を置いてはどうか。

両町に共通のネットワークを早く組めばいい。

防災対策の推進のところで、災害の程度に応じた町内への情報提供を何か明記していただきたい。対策本部のいろんな行動とかマニュアルは多分あると思うが、どの程度のことだと防災無線で放送されるのか、どの程度のことだと何をされるのかを、例えば地震が震度4だったら、役場の方が出てするなどの明記を。

CATVの特定チャンネルで火事などの情報を流して欲しい。

無線で流すと、野次馬がいっぱい来て消防活動の邪魔になるので、流すのを控えるという形にして欲しい。

阪神大震災で地域住民の方の個人的な情報が非常に役立った。そういうことを考えると、確かに防災無線とか通報の部分も大事だが、逆に地域住民の災害時のネットワークも非常に大事。

多分防災計画の中に入ってくると思うが、避難所の整備とか、避難地域の確保といった具体的なこともあった方が安心感を与えてくれると思う。

防災マニュアルが作ってあるが、行政の方がどう動いたらいいかというマニュアルであり、例えばボランティア活動をするときの使う側のマニュアルというか、活用マニュアル、こんなときにはこうした方がいいですよという、住民側の行動マニュアルがあればいいかなあと思う。

#### 交通安全対策の推進

町民の交通災害による経済負担、交通災害共済への加入を促進するとあるが、加入促進のためにも支払い事務を簡素化して欲しい。

高齢者教育とか啓発があるが、西部地震も体験しているし、町の中でも緊急時のときの例えばこういうふうに行動しましょうという子供に対する教育みたいなものとか、地域の補償、サービスみたいなものの利活用の促進みたいなことがあるけれども、使

われてないものがたくさんあるので、そういったものを盛り込んでもらえるといいかなと思う。

施行主体にかかわらず、町内の工事に関連するダンプカーに関し、苦情を言う場所、役場のどこどこへ言えば全部済むというルールをつくって、特定の場所で言えばいいように、それで処理できるスキームをぜひつくってほしいと思う。

交通安全キャンペーンなどの啓発活動はかなり進めていただきたい。

鳥取県の交通安全対策は非常に形式的。通勤通学、いわゆる交通弱者の対策というのを一貫してやってほしい。

交通安全のキャンペーンの中で、一番していただきたいのは、小学校とか中学校とか保育園とかの入学式。保護者も集まるし、どうしてああいうときに交通安全の教育啓発をしないのか不思議でならない。

自転車であるとか、歩行者であるとか電動車いす利用者の交通安全の視点で、集落内の道路整備のあり方を織り込んで欲しい。

## 【安心できる生活の確保】

### 消費者の自立支援

消費者トラブルという言い方がしてあるが、催眠商法みたいな、消費者犯罪というようなくりで何か取り上げることも出てくる。

## 【自然との共生】

### 多様な自然環境の保全

環境条例はたたき台ができていますので、同じことを、徹底するために何回やられてもいいかもしれないが、何とかもうちょっとすっきりした形にできるようにお願いしたい。

もともとあった自然だけではなく、人の隣でつくってきた擬似的な自然、つまり豊かな田園風景とか山の景観であるとか、そういうものを整然とした状態で守っていくというような視点どこかに欲しい

### 生物の多様性の確保

外来種の駆逐というのがあるが、ブラックバスは駆逐して、イワナ、ヤマメの釣り場にしてしまうのがベターだろう。

ブラックバスが今、世間の中で排除の方向であれば、それによって例えば緑水湖に及ぼす影響が少なくて、例えば人を呼ぶために観光資源として売りに出てるのであれば逆の考えもあって、本当は害獣かもしれないが、そういうまちづくりもあるかなと思う。

今の護岸の工事方法は生物の生息環境を無視した工事。全部コンクリートで固めて、魚巢、うろは全部つぶれる。工法を直さなければいけない。

サンショウウオなど絶滅が危惧されるような動物がおれば、それもきちんと守っていく対策をとるべきだと思う。

そういうものを保護するような何かの機関をつくってみるとか、またそれをふやしてみるとかというような積極的な動きをすることが必要では。

公共の建物のバリアフリー、ユニバーサルデザインに触れて欲しい。

## 【人権の尊重】

### 男女共同参画社会の実現

地域社会の意識や慣習を見直す活動を実施するというのは、過去に新生活運動があって、虚礼廃止などは効果があったと評価するが、地域の連帯をみんな壊してしまった。確かに家庭の方では女性が強いかもしれない。生活の主導権は女性がある程度つかんでいるのは確かかもしれない。ただ、一步社会に出た場合にはやっぱりまだ「女性だから」というっていうのは多少ある。企業には、大きな組織になればなるほどそういう要素がある。

## 【人づくりの推進】

### 青少年の健全育成

育成の事業をどういう形で行うかが重要。

人づくりが大変重要な部分になってくる。言葉だけでなく、本当の現実として方向づけてほしいと思う。

国際交流については、国際化していく中ではすごくすばらしいことだと思うが、地域と結びつけて考えていってからの方がいいのではないかなと思う。

国際交流は、一飛ばしに海外に行かなくてもお隣と交流すればいいと思う。

大人になってからいきなりリーダーになれてと言われても困難。子供のうちからリーダーを育てる活動とか、支援みたいなものがあればいいかなと思う。

地区で予算をつけるから子供会に何をするか出せと言ったら、今度は父兄の方が断った。いわゆる第三者が、集落ですか、それにあんまり立ち入ってもらいたくないということですね。

### 住民の生活推進

書かれてる文章に異議があるというわけではないが、本来は住民が主体となってる活動について、役所の側から強化します、支援します、環境づくりを進めます、というのはくどいような感じがする。住民の側でこういうことをやって、でも、役場はちょっとこういうことで手伝ってくれんかというときに手伝ってもらえるようなシステム、あるいは資金的な援助をってもらえるようなシステムがあればいいのではないかな。

## 【人づくりの推進】

### 交流の促進

海外派遣をやったり、自分が海外へ行ったりっていうことももちろん大事だが、会見町でも西伯町でも身近なところに例えば研修生なんかが大企業にはいる。

特に子供たちがそういう人に自然に声をかけたり、ニーハオでも何でもいいんだけど、そんな関係がつくれたらと思う。そんなところからスタートすると非常に自然な感じが出てくるのではないかな。

外国の方は非常に交流を待っている状況が現実にある。県は規模の大きい事業ができて、町にできるとは思わないが、身近なところで積極的に交流をすると、何か派生をしながら発展する。経費を惜しむことなくこういう事業は人を育てるという

意味でもやってほしいと思う。

学校の英語指導で（外国人が）来られているが、あちらの方はこちらのことを吸収したくて来られていることがすごくよくわかり、こちらもそういう姿勢で臨んでいくのであれば国際交流・協力の推進というのはいいのではないかなと思う。

### **町境・県境を越えた交流・連携の促進**

県境サミットを継続されるのはよいことと思う。

近隣市町村との連携・協調を進める方向はよいと思う。

### **【高度情報化の推進】**

#### **情報通信基盤と公共サービスの高度化**

#### **情報化を支える人づくり**

#### **魅力あるデジタル情報の提供**

#### **防災無線の活用**

例えば中部の町村では、例えば議会の中継、町長の会見もテレビで流れる。

確かに金がかかるが、ぜひそういうものが一つ欲しい。

町民が足を運んで議会傍聴に行くのも大事なことだけど、それをテレビで流すということも大事。

携帯電話の普及率が非常に高いが、通信ができないところがある。携帯電話の不感地域を解消して欲しい。行政で補助を出して対応するか何かしなければいけないのではないか。

N H K 鳥取放送局の視聴を可能にして欲しい。

「ワンストップまたはノンストップサービスが可能な「電子町役場」を目指します」とあるが、言葉の意味がわかりにくい。

デジタル情報の提供のところも非常にわかりにくい。

パソコンが不得手な人が不利益をこうむるというようなことがあってはならないので、対応が必要。

防災無線は、両町とも相当年数が経っている。今のものを改良して使うより、これは両町同じシステムにして変えた方がいいという感じは受けている。

地上派デジタル化とC A T Vとをにらんで計画するようなことが書いてあるが、C A T VはC A T Vで防災無線と関連させて計画されたらどうか。

ケーブルテレビの導入に当たっては、どんな情報を提供するかをよく考えていただきたい。大変な経費が必要だから。

情報のところで、どちらかというと健常者だけの議論になっている。例えば身障者、目の不自由な方、耳の悪い方、そういった方に対する情報のあり方、福祉の方も探してみたが見当たらない。

また、防災無線の使用の範囲をもっと拡大した方がもっともっというんな町内の情報が流せるんじゃないかと思う。

G I S は、広域消防で作成したものを町が利用させてもらう方がベターだと思う。

住民は地域の産業に関する情報を知りたいんじゃないか。

C A T V を使って新町の情報を遠い外に発信していくことも考えた方がいいのではないか。西伯町とか会見町が非常にいいところだということがわからないというのがあ

るので、いいところだということをご皆さんに知っていただくというのがまず大事ではないかと思う。

ある町で小・中学校に上がったときにみんな個別のアドレスを町が与えてあげている。新町でも取り組んではどうか。

## 【交通基盤の整備】

### 公共交通網の整備

両町が合併するのに交通機関の関連性が全くない。それは町の体をなしてない。このことは早急に立案して実行されないといけない。

雪が結構深いところもあるから、道路の整備も早急に進める必要がある。

淀江のループバスはがらんとして気の毒なような時間帯もあって、定期巡回の意味をなしてない感じ。不要なところは回らないで済むような情報伝達システムがあればよいのでは。

コミュニティーバスで可能かどうかよくわからないが、両町を結ぶこのネットワークは大事だと思うが、生活のかなりの部分を米子に依存している。米子に向かう流れとうまくリンクするような工夫が必要。

西伯町はそれなりにバスの本数も多いが会見町はかなり少ない。高校生がほとんど自転車で通っている。田んぼの中の非常に真っ暗な道を女の子が自転車で一人で帰ってきたり、雨がびゅうびゅう降る中を傘差したり。ぜひそこら辺も考慮に入れてほしいと思う。

考えておかないといけないのは既存の営業バスがあること。

## 【まちづくり推進】

### 住民参画のまちづくり

町が行う事業の計画から実行、施策評価のすべての段階において住民参画を進めますとあるが、プランの段階から住民の参画、意見聴取とかいうものも進めて、並行してやっていくことは非常にいいことだと思うが、議会決定だからという形で走れば全く意味がないのではないかな。

### 快適な環境の整備

会見町に朝鍋ダム、西伯町には賀祥ダムがあり、これをうまくまちづくりに利用できるように構想がないかな。

建設中の朝鍋ダムを中心に、集客施設を考えたり、花回廊を観光の目玉として、何かリンクした整備を行えないかな。果樹団地、賀祥ダムなど、もともと目的が多少違うものを合わせて観光化しようとする部分だろうと思うが、全部を同じレベルで合わせるのはいくら無理もあると思う。ただせっかく朝鍋ダムができるので、水と花という組み合わせをすれば、観光的な意味合いにもつなげるかなと思う。

統一して整備するのはどだい無理だと思う。何かいい試みがあればなとは思いますが。

どの施設もそうだが、建物はつくったはいいいけど、あとの管理でみんな財政的にだめになるというのが現状だと思う。その辺を踏まえて、金のかからないものをとという考えが必要だと思う。

集客の面からいくと、前に話し合った自然との共生に反する部分かもしれないが、今ブラックバスのルアー釣りが大変流行をしているので、逆にここなら自由にルアー釣

りができるというのはかなり集客力があるのではないか。

農村公園の遊具が適切に管理してない。つくりっ放しでなく、やっぱりある程度点検しなければいけない。

ダムというのは、学者が書いている本を読んでも、寿命は70年だという。いずれ古くなってくると、今度は住民に災害をもたらすことになってくる。できたものをしっかり管理して、災害を起こすようなことは絶対避けてもらいたいと思う。

朝鍋ダムの詳細は全くわからないが、今の緑水園の周りと同じものをつくっても意味がない。釣りもいいが、山遊びができる場所がないし、里山的な機能を持ったもので、地域の子供も地域外の子供も、そこへ行って虫をとったりすることができる場所があれば、一つの個性が出せるんじゃないかという気がする。

朝鍋ダムは花回廊から5分くらい。都会から花回廊にくる人がたくさんおられるわけだが、そういう人たちの憩いの場くらいだったらいいと思うが、賀祥ダムと同じものをつくる必要はない。たまたま花回廊の近所であるし、上の方に果樹園がたくさんあるので、果樹に触れられたり、植物に触れられたり、また水辺を楽しんだりするような環境づくりは前向きでいいと思うが。

「リンクした整備を推進します」と書いてあるが、リンクしたというと多少限定され、難しいが、お互い相乗効果があるような整備であればよいと思う。

## 【地域づくりの推進】

### 地域振興の推進

伝統文化というのは、昔からあるものもいいが、新しくつくることも大切。芝オケもあるし、歌舞伎もある。

昨年社協でアンケート調査したとき、意見として祭りとかイベントをもっとふやしてほしいという意見をたくさんいただいた。また、世代間交流のきっかけづくりになるようなイベントも考えてほしいという意見もあった。どうしても高齢者や子供たちが対象になってしまう部分が多いので、もっと若い住民にもアピールできるような、参加したいというようなイベントをもっと多く取り入れて、それが世代間交流のきっかけになればという意見があり、その辺も考えていただければと思う。

健康セミナーとかウォーキング大会などの公民館活動をやりかけている。まず小さなところから住民の皆さんと密着したものをつくっていけばなと考えている。

町民がその日が来るのを期待するくらい大規模なイベントを町も予算をつけて、合併記念としてやって、それが継続されるようなものも考えてみてもいいのではないか。大きなもので一発でっていうのではなく、小さなものの積み上げや、地域の人が参画するという面も確かに必要。

旧両町域の町民が喜んで参加できる、フリーマーケットや、生産者の皆さんもそこに持って行けば何か売れるというようなことが、あったらいいのではないか。

一遍にカキの種とばし大会ができたわけではなく、何年かいろんなことしながらあれが生まれてきた。本当にできるところからちょこちょこやって、これでできるなっていうことからやっていかないと。一遍にぼんというのは難しいなというふうに感じている。

地域で取り組み姿勢に格差があることが問題であり、その地域リーダーになるような

方を育てるとか、活動が活発なところから講師を呼んで、連絡会を持つなど、意識を高揚させる手段も必要じゃないかなと思う。大イベントは金さえかければいろんなことができるかもしれないが、町内のいろんな機関の方に応援いただいて、実行委員会をつくって、お金をかけずに住民の方の手づくりで行って結構盛況であった。こういう町民で組み立てていくイベントを考えていけばどうか。

### **土地の計画的な利用促進**

「快適な生活空間を創造するための景観形成に努めます」とあるが、真砂土の採取跡が取りっ放しとなっており、終わった段階の緑化義務、整備義務などを条例に近い形で縛りをかけてもらいたい。新しい町の開発要綱みたいなものを定めて、経営指導というようなことを考えていくべきではないか。

地籍調査は、担当職員を増やしても進めるべきではないか。

環境とか景観とかいう部分が基本にまず定まって、それから開発要綱ができればよい。自然環境の方を守らなければいけない部分をきちっとゾーン分けしないといけない。

## **【計画の推進】**

### **建設計画を基軸とした町行政の推進**

総合行政の推進というのは、行政マンにとっては厳しいとは思いますが、方向としてはこういう方向が住民サービスの基本だと思う。

「町民からの意見をデータベース化し、町職員が町民からの意見を共有化し、町民の意識を的確に把握し、施策に反映する仕組みをつくります」とあるが、職員の自分の居住地域の行事への積極参加を義務づけて、職員をレポーターとして参加させることを制度化していただきたい。

審議会などは、旧町地域間、女性、また、必要があれば身体障害者なども、参加割合を条例で決めることとしてはどうか。今までは、町会議員などが口を出し過ぎていると見ている。

「住民参画」という言葉は、住民全部を対象にしているというとらえ方だろうけれども、子供や障害者や高齢者などいろんな方が参画できるという意味合いが表れていない気がする。その意味で、いろんな情報をそういった方たちにきちんと伝わる仕組みづくりが必要だと思う。

現在の町の組織は縦割りで、また、担当が不在であれば対応できない。

この弊害を除くため、中層管理できるような組織に仕組んでいかないといけないと思う。そうすればそれぞれフォローし合いもできるし、業務の山崩しもできると思う。

### **住民参画による行政の推進**

「町づくり情報をよりの確に伝えるため、わかりやすく、親しみやすい広報誌の発行に努める」に関して、他の公民館地域の公民館情報が得られるようにしてはどうかと思う。

### **長期的展望に立った財政運営**

予算決算の説明に企業会計的な要素を織り込んだもの、いわゆる減価償却的要素を入れたものをぜひやっていただきたい。



町民に身近にするために、インフラ整備の予算について町民1人当たり幾ら要りますというところまで出して欲しい。

結局、ないものねだり、無理を言って、議員さんの成績になることもあるが、そういう情報があればもうすこし建物建設の扱い方などが変わってくると思う。

補助金とだいうと、ただ金を国がくれるような言い方をするが、結局我々の払った税金。むだ遣いしないように計画的に、道路等も見直しをしながら使っていかなければいけないのではないか。

前年度に実施した事業の確認などを徹底すれば、一つの小さな団体に関してでも確認とか検査みたいなものをきちんとすれば、予算上多少のお金は出てくると思う。

### **効率的で効果的な組織・体制づくり**

「定員の適正化計画云々」について、いろんな関連機関で、利用者に負担がかかる部分については、当然行政がやっていたものを効率化を図るために別の企業体でカバーしていくということでやるわけだが、少なくとも町の同一職員の給料の2分の1の範囲内で出向先の負担をとどめていただきたい。

## 新町まちづくり委員会 住民福祉部会 分野別整理

### 【健康な生活の確保】

健康づくりでは、早期発見・早期治療の体制が何よりも大切なのではないかと思います。そういう意味では、「人間ドック」を多くの方に受けていただくことが必要ではないか。多くの方が毎年「人間ドック」を受けられるような体制を整備していただきたい。

「すこやか」のプールやトレーニングルームの有効利用のためには、高齢者（特に会見町）の交通の問題を解決する必要がある。そのためには、循環バスを計画して欲しい。

家庭にしながら健康づくりができる施策考えて欲しい。たとえば、決まった時間にラジオ体操を防災無線で流すとか…。

高齢者、イコール社会的弱者という位置づけをやめて、元気な高齢者がどうやって地域の中で、生き生きと地域発展に寄与していくような施策を一本大きな柱にして欲しい。

「いきいきサロン」については、町と連携が取れて、保健士さんとかと一緒に回ればもっと喜んでもらえる。また、内容も高齢者に限らず、障害者の方や、小さなお子さんを持っておられるお母さんなども一緒にできる「いきいきサロン」になればと思います。

独居世帯とか、高齢者夫婦の世帯の施策を具体的に原案として入れた方がいいと思います。

痴呆の防止には、人が集まって、笑ったり、歌ったり、話をしたりしてお互いが触れ合うのが一番基本的なことだと思います。

地域全体で子育てをするのが大切。よその子でも怒るとか、教えることが大切。土曜日の学童保育については、地域ぐるみでサークルを作り輪番制にするとかを考えては。

児童館と公園を老人ホームのそばに作って欲しい。お年寄りが子供の声を聞きながらすごしていくのがいいと思います。

高齢者の生きがい対策として、地産地消の中に元気な高齢者の経験や技術が生きる取り組みをする必要があると思う。

### 【安心できる生活の確保・支えあい社会の構築】

（社協での取り組みで3級ヘルパーを養成することによって）地元ヘルパーの技術を持った人が多くいらしゃると、何かと心強いとっていいことだと思います。

「伯耆の国」で活動しているヘルパーは、仕事の関係上1・2級ヘルパーというのが現状です。実際に3級ヘルパーの資格を取っても、活動する場がないのではないか。

「いき・いきサロン」等で地域で活動してもらうことは、とってもいいことだと思う。3級ヘルパーの資格を持っておられる方にとっても、実践の場や勉強の場があると良いと思う。また、再教育や交流の場があると良いと思う。

介護には、大きく分けて施設介護と在宅介護とあるのですが、やはり在宅介護が中心であるほうが良いと思います。施策的にも在宅介護を中心に進めて欲しい。そのためには地域で支えあう体制を確立することが大切だと思う。

骨髄バンクの登録が、西伯病院ではできない。西伯病院でできるようになれば、登録者数も増えると思うので、その辺も含めて検討いただけたらと思う。

新しいまちづくりの視点から住人福祉を位置づけることが必要だと思う。その中で、元気のいい高齢者が担う町ということを大きな柱としてすえて欲しい。会見町では、今店がなくなってきていて町内で買い物もできない。身の回りのことが町内でできる町にして欲しい。また住民の意見交換の場が必要であるし、行政にばかり任せずに住民側が行動することが必要だと思う。今が変えていくチャンスだと思う。

また、アンケートなどで住民の意向・意見を汲み取ることが大切。

社会福祉協議会（会見町）で福祉教育ということで小中学校で補助金を各校 13万円出してやっているが町のほうの協力もないと福祉教育は進まないと思う。

子供の時からの福祉教育は大切。住民が参加して、催しものや意見交換が大切だと思います。

短時間でもボランティアに参加したい人の要望に答えるような施策を出してもらいたい。

#### 【自然との共生・資源循環型社会の構築】

包装用のトレーがたくさん出ますが、県や町の取り組みで大変少なくなったとの例もあります。そのような取り組みをしては。

ペットボトルやビンなどの生産も、リサイクルできるごみが出ない生産が必要。イノシシの駆除を実施していただきたい。イノシシが出て生活に苦勞するという地域はあってはならない。

ごみを資源として、有効活用を図っては。たとえば、ごみでの発電などで、新エネルギーによる町おこしなどを考えては。

集落の清掃作業等で出た、草・木・泥の処分について新町で対応して欲しい。

木については、チップにする裁断機を設置しリサイクルをするような対応をしては。

西伯町も会見町もきれいな川があるので、「蛭の里」の取り組みをするなど自然との共生を実践したらいいと思います。

#### 【人権の尊重】

救済制度（差別をされたり被害をこうむった人に対する救済）について新町でも考えていただきたい。

同和・人権問題に関心を持ってもらう施策が必要。  
同和・人権問題の条例の存在を明記して欲しい。  
人権教育を学校の重点課題にすることが問題解決の一番の早道。  
同和・人権教育も家庭と学校両方で実施することが大切。  
それぞれの地域にリーダー的な人を育てる施策が必要。  
人権教育の推進という項目が必要。  
地域での同和・人権問題の研修・教育の推進が必要。  
「いきいきサロン」での研修は、高齢者方に対しては良い機会になる。  
行政職員の自覚を高めることに取り組んで欲しい。

**【西伯病院改築設計に対する意見】**

**【配置図】(建物配置、駐車場、屋外運動場)**

駐車場から病院入口までの歩道に屋根をつけてほしい  
乗合バスの乗場は？

植木の管理がしやすいように(大きくならない)

お茶を飲んだり歓談するためのテーブルとイス、パラソルの設置を

**【1階平面図】(外来部門)**

待合の呼出が老人にわかりやすくする

全ての面でバリアフリーを考慮してほしい

レストランは明るく、おしゃれに

光庭には日本調の樹木を入れる

**【3階平面図】(一般病棟及び2階屋上のガーデンテラス)**

見舞者と話しができる場所がほしい

入院した体験から患者同士で囲碁、将棋ができる場所があればいいな

感染型の病気をもった子どもの病室などを設けては

ガーデンテラスの庭木は手間のいらぬものが良い

ガーデンテラスにイスとかパラソルが置いてあるとよい

## 新町まちづくり計画 産業経済部会 分野別整理

### 《産業振興》

フラワーパークという大きな観光施設を利用し、お客さんに果樹園に行って自分で実際にもいで食べ、畑の空気吸い、人と交流できる施設等を整備する。

もっと自由な農業をし、時代の流れの中で観光農園みたいなことをしたい。

イチジク農園をイチジク狩の観光農園にする。

体験学習も含めた観光農園を目指す。

ブルーベリー・梅・柿・梨の観光農園、炭窯を造り、シイタケを栽培し、原木の炭焼きする体験の場、またソバ栽培をしてソバを打たせる。いろいろな形の農業を目指しながら、緑水園など観光的施設とつなげ、交流の場所にしたい。

ダム設備も従来どおりの設備でなく、観光農園をつくることは新しいことだと思う。来る人が求めるようなことを目指す。

一応たくさんの計画を盛り立てておいて、その時代時代に合ったものを対応していく。虹の村バンガローがたくさん利用があるので、地区の集まる公民館とか今ある施設を利用し、宿泊・人寄せのようなことを考えたい。

いろいろな事と場所をリンクさせる。ダム周辺の整備と野イチゴを取ったり、ドンダリを取ったりする山を整備する。

朝鍋ダム完成後、周辺の整備を是非進めていただき、果樹園との連携した観光地にしたい。西伯町の緑水湖周辺の施設との連携も図ってほしい。

緑水湖にはバンガローがあるが、こんな施設がもっとほしい。

総合的な観光農園みたいなものを造る。

行政側も石橋たたいて渡るようなことだけではなく、いろいろな自然との触れ合いができるような計画を、ダム周辺で進めてはと思う。

### 《交流の促進》

緑水園とタイアップして、イチジク狩・緑水園で食事という子供の社会科見学コースを発展させて行く。

四国のレモン農家では、農家に泊まり農作業を体験できる。花農家や果樹農家に1泊してもらい、農産物を買って帰るコースを検討してはどうか。夏休みを農家で過ごし、家族でゆっくり泊まり農家とじっくり会話をしてもらう。

宿泊の場として緑水湖のバンガローを使い、畑で農業体験をする。

ショートステイのような形で、柿・イモ掘等地元と県外・都会の人たちが交流し、その土地の人たちを知ってもらう。柿など物だけ売り物にするのではなく、人間性・人の心を売り物にしていくというのがすごく魅力だと思う。

都会の人たちが都会の生活に疲れて何かを求めるときに、自然の中でみんなと一緒につくったり収穫したり、飲んで騒ぎ・遊んで一晩過ごすことはすごくいい売り物だと思う。周りにアピールし農業の振興になるのではないかな。

都市生活者との交流を重視し、滞在型、交流型の転換を進めたい。

オニヤンマが多くなり、蛍も帰ってきた。自然との共生という形の観光をお願いしたい。子供たちに体験させ、家族で参加する形のやり方がいい。

都会の人たちは里山やドングリ林とか昆虫とりとかが貴重な存在。

山林は、経営ではなく教育として子供たちの学校とリンクさせる。子どもたちは山のドングリやアケビとりなどを知らない、遊び場・教育の場とする。

町が管理して観光農園と、学習里山みたいな体験施設としてみてはどうか。

西伯町に森の学校と遊歩道があり、都会の人には喜ばれている。会見町でも宝塚市と交流しており、緑水園等を活用しながら人が行き来し合い子供たちが都会の子と交流を図る。

## 《農林業の振興》

通勤農業という形で、会見町・西伯町の人と一緒にできる何か取り組みをする。

木の切り株をそのまま炭にし、家の置物として売っている人がある。着眼点としてはいい発想だと思います。そういう利用法もある。

西伯町も会見町も中山間地という立地条件は、農業に関し効率的にはすばらしいとは言いにくく、手のかかる農業の地形の中で、集落が助け合い共同作業等を進め、これからの農業は守り伝えていかなければならない。

農業は今本当に厳しい。水稻は特に転作も限界に来るほど厳しい中、本当にこれからの若い人たちがずっと地域に残れるような、自然との共生、里山みたい町を目指す。

農業はすごく大変というイメージがあり、実際農業をやっていくことでのメリットや、農業でこれだけの生活できるとか、具体的な数字を出し、何かツアーみたいな体験農業などを企画し、実際に作業を体験することで、こういう生活ができるという具体的なイメージができれば、農業に入りやすいと思う。

農業は大変だと思います。食べていけるのだろうか、農業をしても結局、土日に農業して、あとは働きに出ないといけないようなイメージが出てきてしまう。そこが解消されれば、農業しながらのんびりとしたところで安心して子育てができることはすごくいいと思います。そういう魅力は沢山あると思うので、方法を考えていただきたい。

農業は、安心して就農できる環境・所得があれば、やってみたい業種の一つですが、それだけでは生活できないというのが今の現状。

事業はある程度の規模のことをしないと収益につながっていかない。そのためのグループづくりとか、それに賛同して集まれるような環境があればと思う。昔は青年会議などがありました。

勤め人でも交代で作業するとか、グループづくりがすごく大事なことだと思う。休める人が輪番で管理をし、作業の分担や集落の中の若い人などのグループができていけば、夢とか展望が強まる。

農業は、本当にやれる人が専業でないと、経営は無理だと思う。

何人かのグループで維持管理を続けていく、そこで所得を上げるというのは、今のところだと難しいと思う。西伯町の水稲以外はプロッコリーが名所となり、産地になれば収支も合うようになる。しかし、リーダーのような人がいないととてもできない。

無農薬で味の濃い野菜売りで、そればかり集めたような店があってもいいと思う。ブランド品をつくる、例えばキュウリであれば絶対どこにも負けないキュウリ、ここでしか食べられないキュウリなど、東京・大阪の料亭とかに出るようなものを作る。値段は高く、スーパーで買ったものとそんなに味も変わらなければ競争力がない。価値をつけて出す、曲がったキュウリがだめなら最初から刻んで出す。真っすぐに見えるように刻んで出すとか漬物にするとか、いろいろな方法はある。台風で多量の梨が落ち、数少ない落なかった梨を大学受験用の「落ちない梨」と販売したら好調に売れた経過があり、ちょっとしたヒントときっかけが大切。ある程度専門でやるとなると人のやらないものをつくる。労力をかけなくても売れる、都会では売れるものがたくさんある。観葉植物みたいに、この辺りでは草みたいなものをお金にしている人がいます。発想の方向、転換を図る。転作田を特産品の産地みたいに、地区・集落を挙げて、町を挙げて取り組む。西伯町の市民農園を、会見町でもやっていけたらいいと思う。家庭菜園ぐらいの面積を区分けし、つくっていただくような施設ができればと思う。

### 《自然との共生》

会見町のダム周辺はあまり手をかけず、自然との共生を考えてほしい。施設とかを整備しないで自然のままの方が魅力がある。大山のアスレチックのようにきちんとなっているところよりも、ただの森みたいなところで、一応車は入れがそこから先は歩き道が続いているだけ、川が流れているだけ。そういうところの方が新鮮で楽しめて、いやされる。西伯町の森の学校のように、自然というのはこういうもだと知ってもらえる場所があってもいいと思う。アケビとりを、親と一緒に体験させたい。自然がある場所に歩いて行けるという環境はすごくいいと思う。会見町は歩いたらすぐそこに自然があり、最大限に使えるようにしてもらえたらすごくいいと思う。何をして喜ばせようかなと考え、裏に松林があり、そこで遊んでいただいたことが一番楽しかったようです。松ぼっくりが落ちている、セミがいる、とにかく虫がいるそんなことがおもしろかったようです。おぜん立てするよりもこの方がいい。山陰は季節感がすごくわかり、ああ春だとか、雪が積りそれが解けて春になるとすごくうれしい。大阪では春がうれしいことはなかった。

### 《技術の高度化と競争力の強化》

特産品等の販売拡大には、道路が重要であり整備をして流通の体制を確立する必要がある。国道180号をもっと利用してはどうか。道の駅等を整備して道路沿線に特産品等の商品を販売する。町道の整備をもう少ししていただきたい。町道の周りの草刈りで、年寄りばかりになり管理ができないので、町で考えてほしい。少しでも補助を出してもらえると、道もきれいになる。

史跡等が両町にはあり、それらを結ぶ道路を整備してほしい。

### 《まちづくり推進》

企業誘致と住宅政策をリンクさせ、企業の従業員が町内の住宅（町営住宅）に住むことが出来るようにしてはどうか。人口増加の手助けにもなる。

ゴミ袋を一工夫して、結びやすい形にしてほしい。価格との絡みもあると思いますが、他町を参考にしてもらいたい。

新しい町では、安心して子育てが出来る町であってほしい。

外から来てもらうのではなく、町民が出て行かない、住み続けたいと思える町が一番いい。

人を呼んでくるよりも、人が出ていかないような町づくり、村づくりが大切だ  
自然が周りに沢山あり小学校がある。小さい学校でなおかつ地域の人たちみんなが学校の行事・運営・児童の育成にかかわっていて、学校と地域が一つになっている。地域に開かれた学校という形でみんなが協力し合って生活をし、子供たちも自然の中で育ち、地域の人たちも自分たちの地域の子供だという意識で見ている。そういう中で子育てをすることはすごく安心感がある。

人が出ていかない町、会見町も西伯町も、特に西伯町は「ゆうらく」ができ、高齢者に対する福祉がかなり充実していると思いますが、子供に向けての対策・子育てに対する支援等に関してはもう少し頑張してほしい。共働きで暮らしていくには厳しい若い世代が住むにはまずの働き口がない。子供を預けて安心して働けるという部分が弱いと感じます。住むには本当にいい場所だと思います。子育てに対する福祉がもっとも充実すれば住みやすい場所です。

集落の中で子供もお年寄りも、障害のある方も社会的弱者の方もみんな一緒に安心して暮らせるような場所ができればすごくいいと思う。

若者が残れる町ってどんな町だろうと思いつつ、でもそうなったらすごいと思う。

### 《地域づくりの推進》

町民まつりはいいと思う。両方の町が一つのことに向かって、ばあっとやるということができたらずごくいいと思う。他からどんな人が入ってきてても安心して暮らせるような町で、若い人がここから離れたくない、死ぬまで暮らして骨を埋めたいと思えるような町になってほしいと思う。



## 新町まちづくり委員会 建設水道部会 分野別整理

日時：平成 15 年 7 月 11 日(金)19:30～  
平成 15 年 8 月 20 日(水)19:30～  
平成 15 年 9 月 10 日(水)19:30～  
場所：プラザ西伯

### 福 祉

#### 【安全な生活の確保】

##### 防災対策の推進

きょうは鳥取大震災があつて60年になる、防災関係の無線とかサイレンとか、総務企画部会にお任せし、万一災害があつたときの道路、例えば、防災道路のルートを決める。「寺内を通る県道は今のところまだ、寺内は多少良くなった、清水川の辺が全然通れません。これは防災道路だよ、自動車は駐車しないでください」とか、「この河川は万一のときには水をためますよ」とか、万一の災害時のことを部会で話ししたのがもったいないと思う。「この道路は災害があつたときは駐車禁止」とか、新町道路の全体プランに緊急道路のマップをつくったらどうか。

清水川が通れない。消防署の先が狭いです。

道路も水道も災害を考えて、やらないといけない。

水道も大火災には水を止めて回すとかを考えないといけないと思います。

##### 砂防・治山・治水安全対策の推進

法勝寺川の下流、大袋付近に堰がある。法勝寺川の増水時、支流からの排水が法勝寺川本流にうまく流れないため境集落が浸水する。最近では賀祥ダムの洪水調節でないが、そういう心配がある。それでこの放水路を会見町側の排水を堰の下に流す要望があるが、河川改修が絡んでおり実現していない。下阿賀の山からの谷川、大谷川が集落辺で尻無川になり、用水路と合流し、さらに下流の寺内川と合流して、境の排水路に繋がっている。流域の河川改修が課題になっている。

この合流地点が西伯町の境部落。低いところが床下浸水と過去に結構発生した。この対策を重点的にしていかなければならないので上げている。

西伯町原地区の絹屋川と法勝寺川の合流点、洪水のときに逆流して原の部落で一部浸水騒ぎが何回か起きている。ちょうど急に狭くなっています。その前後は広いのに何であそこだけ狭いのかなと思います。

西伯町も人工林がふえており、保水力がないと言われております。やまと園の裏山がかなりな面積できれいに、切られ植林されました。自分の山だから勝手に切っているのか。森林組合か町で管理かどうか。土砂崩れでもあつたら大変なことになるのでは、

高知県でしたかね、水源税ですか西伯町も、例えば米子や境まで水が行くんだつたら、その関係者から水源税をもらって、山の管理に補助してやるとかというようなことをせんと山が荒れ放題になってしまう。

水源税は鳥取県が考えている。

## 環 境

### 【自然との共生】

#### 多様な自然環境の保全

西伯町役場はISO14001をとっているが、会見町はない。合併したらどうなるかなと思った。例えばその焼却場がある。ごみ、米子市の場合はあの熱で発電している。合併後は余熱発電や、太陽光発電など自然エネルギーの活用策を願う。保育園にはソーラーとか風力とで、西伯、会見は自然に優しいことで持ち出したらどうか。

会見町の景観形成推進員。各部落間を景観形成で草刈り奉仕する。各部落1、2人ずつ参加で、人数はあるが金がない。西伯町はあるが会見町はない。機械も油もジュースも自分らで負担だ。会見町では、フラワーパークの行き帰りに空き缶や草がいっぱいでは話にならない。

朝鍋ダムに桜を植える話は非常にいいが、緑水湖周辺はソメイヨシノが植わっています。ダムには山桜を植えていただきたい。一つ大事なことは、桜というのは管理をしてやらなければならないので、ぜひ町民の手による維持管理をしていく工夫づくりを、これプラスしたものとして考えていただきたいと思います。

今の定住では、近くにはフラワーパーク、大山の一番好きな風景です。あそこに団地をつくったらどうかと。町営住宅より団地です。しかも退職者、さつき若者と言われましたけど、都会なんかでリタイア、早目にリタイアされた方がどっか安住の地を求めたいという人たちに、鶴田周辺に空き地が多い、自然体験もでき、フラワーパークに散歩にも、朝鍋ダム周辺も散策できる。花回廊のシャトルバスを生活路線バスに組み込める発想はどうか、県の了解が必要か。都会から来られ、孫がおじいちゃんおばあちゃんの家から会見小学校にとか、米子の高校に通うこともできると思います。相乗効果をねらった定住対策もどうか。

山桜が個人的に好きで、西伯町、会見町の景色は山桜が合うと思います。

あとで、『桜植えたよ』って投げてもらっても困る。住民参加型でないためですよ。

多様な自然環境の保全で、平成16年度に完成する朝鍋ダム湖周辺整備ですが、同じ町にダムが2つあって、同じ整備をされるのはどうかと。残土処分場、近隣のフラワーパーク等を全部考慮し、定住、町営住宅、住宅団地とかを基本に。賀祥ダムと同じような整備が2つはもったいない。

子供たちにバードウォッチングをと言った。賀祥ダムにないものをしたいと提案をしています。

2つの町が一つになるわけですから、機能をうまく振り分け、新しい町土をどのようなキャンパスにするのか、皆さんの知恵が欲しい。

ダム湖の整備で、上流にはグラウンドゴルフ場ですが、足が悪い年寄りには登れない。

子供にも地域のいいところを、親の利便性ばかり教えるではなく、小さいときから自分はここが好きだと。私はここに来てもう20年ほどになりますが、この環境は好きです。鳥でも虫でも見たことないのがいっぱいおりすごく好きです。小さいときから、知らないことが多い。学校で授業しか習わないから郷土のことをすると、気がつくじゃないでしょうか。

会見町教育委員会に県から先生が来ておられます。夏休みにカブトムシ取りをした。親

子連れでびっくりしました、結構いました。

親子で一緒に体験は、例えば映画に行きたり、物を買うとかそういう体験ばかりしかしてない。自然との体験を親子でしてないですが。

実は学力調査というのを一斉にやった。西伯町の子供もそうですけども、それ以上に会見町の子供たちが、住む町に魅力を感じていない。親の方からアプローチしていかないといけないし、まちづくりのことも子供たちに本当は、中学生ぐらいならわかりますから、意見を求める場面もあったらどうか。

アンケートから、定住させようと思ったら誇りに思わんと、住みには帰ってきません。その部分を伝えるのが大人じゃないかなと。朝鍋ダムあたりを有効利用して、親が子に伝え、子供は子その孫に伝えていくという、数世代にわたって循環できたらいい。

県の青写真に釣り堀がない。

緑水湖はブラックバスが釣れるけどほかのものは全然釣れない。

外来魚は禁止するというような方針。

放す人がいるみたいですね。

自然体系が壊れる。

## 【資源循環型社会の構築】

### 水環境の保全

下水道料金設定の考え方は……住民票の数を基本

合併処理浄化槽設置と浄化槽市町村整備推進事業（特定地域生活排水処理事業）の違いは……戸別で補助する方式から、町が事業主体で行うことの違いがあり、受益者負担も軽減される。設置後は町に寄付採納すれば町の料金体系や維持管理となり、経費負担も安くなる。合併後は計画区域を新町に拡大し実施する。

両町の下水普及状況は、……西伯町では平成14年度末現在48.7%の普及率。うち水洗化率は71.4%。会見町の普及率は96%、加入率が80%台で今後の促進策が課題

コンポストの意味は……下水の汚泥処理施設で、現在西伯町、日吉津村、大山町の3町村で運営中。堆肥を製造、米子市内の下水処理会社に委託し販売している。今後合併の枠組により旧会見町の扱いも変わる。

## 交 流

### 【交流基盤の整備】

#### 道路網の整備

幹線道路では西伯町を見て回ったときに、各集落の連絡道、集落の幹線が、狭いように見受けました。その辺の整備計画は。

幹線道路の優先順位をつけるべきでは

事務局説明の地元の主体的な立案っていうことは大切です。必要に迫られるから自分たちも維持管理をしていこうという文言が入っていると受けとめているが、この集落内を、集落間という形を入れた方がわかりやすい。

生活道路の維持管理で、最近建設業者さんのボランティアで草刈りをしてもらった。集落の町道管理も町に、合併しても町にという現状はありますが、徹底して集落の道路の

町道の草刈りまではできないのが現状。ソフト的な事業も、西伯町はじげの道里親事業を展開しており、手を挙げた集落にはその計画を出していただき、初年度5万円、2年度目が3万円、3年度目2万円、計10万円で草刈り機の歯、または草刈り機を買うなど、住民の主体的な力により、道路環境の美化の取り組みを願っている。

集落内はできるが、集落と集落を結ぶ間ができない現状がかなり多い。

先月、両町ぐるっと一周見学会後の意見交換会で、両町を結ぶ道路が3本では足りない意見もあった。180号バイパスも欲しい。山越し道も必要ですが。

両町では検討段階のケースもあり、確かに180号と181号を結ぶ線は重要だと思う。

新宮谷を越える広域農道は、一見便利がよさそうで実は危ない、特に夜は交通量も少ない。危険性の部分や治安上です。それから不法投棄はないか。

グリーンパークのゴルフ場、通称樹園地農道は、1級町道も諸木鶴田線というのが諸木、西原から、境界と重なり田住の上、荻名、ゴルフ場前から鶴田に抜けるという長い7キロもある町道です。数年前までは不法投棄が多くあった。このごろは看板も整備され、モラルが上がったのか、ゴルフ場やフラワーパークができ交通量が増え、過疎の道でなくなった。不法投棄等は割と少なくなったと思う。

道路の幅が広くなるのはいいが、維持管理が厳しく問われる。町ですべてはできない。フラワーパークの道路も、果たして農道として必要なのか考えてしまう。行政は縦割りではなく連携とれる方法がいい。林道もすごい舗装が延々とされ、それが地震で壊れて、修繕は出来ただろうが、果たして使われるのか心配だ。

青写真ができないまま道路だけつける。行者山林道は、入蔵とあご牛を上で結ぶことで、非常に効率がよくなる。災害でも伯太町との連絡、連携がとれるようなシステムをつくれればと思う。会見町は割と最寄りの道路に早くにアプローチできるが、賀祥ダムから奥になると、主要な道路とつながっていない。

私も会見町で一番山の中に住んでいる。町道が2車線道路になり、交通の便がよくなると人も来て、いろんな面でいいことがある。両町にも、各集落にすごく狭い道路があり、計画的に考えていくべきと思う。前提は地元の熱意がいちばんです。

行き止まりの集落が西伯町はある。どっか通り抜けるとか、回れるとかなら利用される可能性もあるが。

金華山のふもとの八子という部落との連絡道で、馬佐良部落は草刈りをしない。八子の方が馬佐良地内を草刈りするという現状で、本当に気の毒。役目で一日がかりです。維持管理を地区の人が一緒になって集落間をできるようにするのは必要だ。維持管理をするからつくってくれればいいが、要望のみで維持管理しないのは通らない。

主要な公共施設を連携する道路は、これからは庁舎の問題とか結論が出されるが、今の道路を中心に考えておけば支障ない。

独創的な夢の話ですが、会見町と西伯町役場に向かって電車を走らせたい。無公害の電車が走れたらと。本当は馬佐良経由で周遊するのがいちばんいい。

フラワーパーク、西伯病院、公共施設を結ぶ何らかの交通機関、例えば町営のバスをつくりたい。西伯病院も建てかえられ、機能が一段と増し、お年寄りや運転免許証を持たない方が公共機関とか病院に行くための交通機関を整備したい。

バス路線はどこか。

会見町は米子から天万に入り、溝口伯太線を通り、市山、朝金まで、福頼市山伯耆大山停車場線で御内谷まで同じコースを帰る路線。岸本町別所、岩屋谷を通り手間に抜ける2路線です。

米子からの国道180号で、大木屋まで、法勝寺までは回数が多いが、大木屋までは1日に3回です。西伯根雨線、東上の金山です。これは1日に何回ですか。また、福祉通学バスが伐株線、猪小路に運行しています。

県道1号線では、会見と西伯の連絡バスがなくなって、患者さんが減り収益が減ったという実態がある。そのとき連絡バスを通わせてほしいという要望もあった。これは総務の交通の部会で論議されると思います。だんだんバスとか100円バスとかで、通学や福祉を主体にした道路を利用した機能の確保は必要。

平成12年の鳥取県西部地震では火災はなかった。火災時に、西伯町の山間部の集落は消防車も行かれないとか、救急車も行かれないところもある。家が密集している奥の奥まで道を広げるような事業を建設計画に欲しい。それには財源の確保も必要だが。

交流基盤の整備という大項目がある。県道溝口伯太線の清水川の危険度が高い。寺内も拡張工事をされているが

電車のことはとても共感し興味を覚えた。車中心にとか、自転車一生懸命こげる人は何かありきるところがある。すごく引かれた。夢を語らないといけない。

この前初めて両町全部回った。道路の狭さ、山には気がついてなかった。西伯町が好きで米子市からきた。ここまで山がひどく奥だったかと思っただが、逆に山があつていいと思っただ。何かすごくよかつたと思う気持ちがあつた。

幹線道路と集落をつなぐ道路の整備が欲しい。

会見町は、道路工事がもう末端まで出来ている。賀祥ダムの国道の坂道の改良を、子供は自転車で歩く、冬はもう真っ暗なところを歩く。何とか解消を

朝金では特に西伯病院を利用される声を聞く。西伯町へ迂回するバスが早くあればいい。

道路の電灯が会見町も西伯町も少ない。中、高校生が米子から帰ってくると、すごく会見町は真っ暗で、女の子一人自転車で通るのはすごく危ない、治安も悪くはないが、一人で帰ってくるのが怖い。

各集落の行政要望に西伯町でも道路の照明灯である。集落は防犯灯という位置づけで要望がある。集落間の防犯灯は道路の脇とか車が通るところであり、西伯町の場合、町民生活課であるが、会見町の場合はどうか。

救急車も入れない道があるので、車が入っても向きを変える道にして欲しい。

道の駅が欲しい。広島に抜ける道で結構交通量がある。フラワーパークも関連している。

ハード面とソフト面で優先順位がある。いちばん住民何が必要かと思っただ。

管内図は今あるものしか載っていない。5カ年先の計画が載せてあるわけでもない。逆にそのイメージを膨らませていくと思う。庁舎がどこに建ち、ほかの施設がここにあつてという、もっとイメージが湧き、夢のあるもので話せたらいいと思う。米子市では、結構維持管理に市のお金を使っている。地元の人が出て草刈りをすることはない。草刈りも、部落間はできて、外灯もその間、つなぐ道など町としてやるべきかと感じた。

## 【まちづくり推進】

## ゆとりある住まいづくり

西伯町町営住宅は、半分ぐらいが適正で維持管理すると住民が減るのでは、減らした分、いかに住民を増やすことが一番では

住宅基本計画ですが、空き家が相当数今後発生する山間部、特に西伯町。都会では古民家が大はやりです。残る民家を何か有効活用できないか。お年寄りが一人住んでいる家の庭先の隣接した土地を無償で分けてくださいと。そこに家を建てさせて、つまり電気、水道は来ているため、一緒に隣同士になって都会の人と一緒に暮らすような話もあった。それが西伯町に当たるかわかりませんが、社会整備がされ電気、水道もある。このまま家人がいなくなったから朽ち果ててしまう。緑水湖の体験学習する森の学校もある。早期退職者を何か呼び込める仕掛けがあってもいい。

町がホームページで、空き家を紹介するのも非常に大切です。

なぜか若者は米子市に家を借り出ます。利便性からでしょうか。生活するのには空気はおいしいし、いいような気がします。

うちも息子がいます。米子にマンション買って住みたいと。冬が困る、夏だったら何てことはないが、朝早いこと起きて出ないと。冬の間でも米子に住みたいと。

何ぼ朝早くから道をあけてくれてもね。

冬は朝が渋滞し、米子にもうちちょっといい道つけたらと思う180号線も。若い人でも田舎に住んでもいいという人はたくさんいるが、住宅情報が公開されていないから、宣伝する米子に行くと思います。家賃を安くするとか、公表したら会見町、西伯町にも来ると思っています。

山間部には、人と人のつき合いで煩わしい部分があるようですが、世話役を押しつける。その辺のことも確かにありますけど。

人口が減るのがいけない。出生数が減って

会見町って、ほんわかとしたような思いがあります。西伯町が決して悪いわけじゃない、知らないところが一緒になれるというような気持ちはありますね。合併は結婚と一緒に、坂本町長いわく結婚と違うのは、1回くっついたら離婚はできんぞということを、会見町との結婚（合併）は、わくわくするイメージがある。

結婚は、一緒になったら現実が待っていますから、努力が必要。

情報発信でPRしないと、若者向けITの時代です。空き家情報とか。

インターネットのホームページに情報が載せられやすいと思います。

伝言茶屋はいいコーナーです。だめなものはだめだって役場へ行かなくても書いてあります。すごいなと思う。

荒らされることはないが、個人名も名乗ってほしい。会見町のホームページは、のぞいたこともない。失礼ですけど。

定住政策では平成12年度から西伯町に土地を買って家を建てた定住者には、5年間は払ってもらった固定資産税を返すという制度があり、奨励金制度の効果で人口が増えています。

それは例えば大きな30年間固定資産税は要りませんか。

固定資産税では、生活ができない。

固定資産税だけでも、払わんでもいいと思ったら、金額が少なくても。

交付税は2人世帯で来てもらえば固定資産税より地方交付税が多くなる。

いいこと聞いたわ、5年間。

合併すると一緒になる。会見町も。

西伯町も会見町も人口が微増です。会見町は福里団地。西伯町は四季団地、フォレストタウン、大国田園ハイツとかあります。奥部は減っています。

町家は人がふえるが山間部は逆に人が減っていく。そこが難しい。

冬場のひとり暮らしは不安。空き家を利用しグループホーム的なことに活用するか、米子まで出なくて、町内に留まる方策が欲しい。

## 【地域づくりの推進】

### 地域振興の推進

主要な施設が北の方に集まっている。南の方にもあれば活性化する。どこか中心になるところがあればいい。

スポーツ、文化では結構記録を出している人がおられます。日本海新聞がスポーツ大賞とかいうのをやっています。町報だけでなくそれに相乗りするぐらいで、西伯町はない。町独自表彰で、コミュニケーションができる。小さい話ですが、ぜひお願いしたい。

うちは運動会のときに表彰がある。

米子に出る話もあるが、生産部門工場は、もう日本では成り立たない。優良企業、本当に就業できる大きな工場なり研究施設でも1カ所あれば。その従業員が野球とか、バレーボールとか、企業と地域スポーツが合流し、大会に出て、発展的になる。その手の企業がなく寂しい。企業誘致、定住化とあわせてぜひ力を入れて欲しい。

若いころは都会にあこがれが強かった。ふるさとがあつての自分だと思う。福里団地も大国田園ハイツも、不景気でも家は建つというイメージもあります。住宅基本計画が見たい。マンション等の問題、大変すばらしいことだ。西伯町には緑水湖があり、会見町にはフラワーパーク、ゴルフ場も果樹園等あります。西伯町に宿泊、会見町に果実のもぎとり、娯楽はフラワーパークに行くなど、レクリエーションするシステムがあれば、人が行き来し、活性化のまちづくりというのはできると考えます。

会見町です。西伯町のいろんなところが、理解でき勉強になった。互いにさわやかに譲るところは譲って10月1日にしてもらいたい。

サティのスポーツジムは朝から年寄りがよく来ている。びっくりするほど、人が来とる。人間は体鍛えることは、自分が必要だと思えばする。子供に何も言わんから、家出てしまう。今住んどるところは景色も好きだから都会出ようと思わんし、自然に任せればいい。いろいろサウナに行くけど、このあたり全然ない。そういう施設があると助かる。緑水園か、プールの健康増進センターは、どの程度の器械があり、指導などはっきりすれば、わざわざ米子まで行かんでもいい。

デメリットを感じさせない合併をお願いしたい。

子供が、何ていう名前になるかわかりませんが、この町で生まれて大きくなってよかったなって、大きくなってから言ってくれるような合併をしたい。

職場の都合で2回欠席した。会見町から嫁さんをいただいており、常日ごろから交流会とか合併も話を聞いています。合併してよかったなと言えるようなまちづくりをしていき

たい。

花回廊ができるとき、会見町もフルーツパークをつくろうという話があった。これはやってほしい。この辺にも果樹園があります。人が集まる施設が、この辺にそしたら花回廊のお客さんがそのまま来ると思う。

会見町では町民運動会があるが、西伯町では地区運動会になっている。10月1日の合併であれば、来年の町民運動会で、最後に西伯町と会見町で大綱引き大会などをまとめてやってもどうか思っております。

格差のない、行き届いて、今よりよくなったって言われるようなサービスなり、暮らしやすいようにしていただきたい。

何をさておいても会見町と西伯町とを結ぶ循環バスを真っ先にやっていただきたい。

道の駅の設置をしていただきたい。研究施設か、または福祉関連の研修施設ですね、これを誘致できればイメージ的に非常にいい。会見第二小学校の有効活用に魅力があり、模索していきたい。会見町の方々とこのまちづくりについて話ができて、いい機会を与えてもらった。

## 【計画的な土地利用】

### 水資源の確保と効率的な総合利用

西伯町大木屋集落に水道計画は、また防火用水の確保はどうか……現在計画はない。自家水道で賄われている。震災後に水源確保の県補助事業で戸別に対応した。また、防火水槽も消火栓は無く、河川等の自然水利に頼っている。

水資源の有効利用の観点から、雨水タンクの設置補助の検討はどうか。中水道の活用策を含めてはどうか

合併したら税金がとられるのでは、……新町の税率は変わらない。米子市となら後回しになるのではないか

下水道が普及すれば、より水不足になるのでは……すでに公共下水、集落排水が普及しているため、そんなに増えないと思っている。

両町水道を一本化した場合の水量の余裕はできるか……会見町諸木水源は水量及び水質とも見込みがあるが、結果が出ないと分からない。

西伯町は水質不良で家庭の機器が長持ちしないのでは、……水道水を改善するのに経費が嵩むためであり、蛇口からの水質は変わらない。



## まちづくり委員会 教育部会 分野別整理

### 安全な生活の確保

#### <交通安全対策の推進>

- ・ 学校が忙しいのは判るが、交通安全教育などが削られていくのは納得できない。西伯町には駐在さんが2人もいるし、協力してもらってそういった教育を充実して欲しい

### 健康な生活の確保

#### <子育て環境の充実>

- ・ 保育園で看護婦をしながら保母をしており、子ども達は愛情に飢えていると感じる。保育園で12時間を過ごす子どももいる。朝は自宅で食事をするが、昼食、夕食を保育園で食べる子どももいる。良し悪しは判らないが、共働きで働いているお母さんが多く、子どもが犠牲になってしまっているように感じる。中にはおんぶに抱っこな子どももいるのに。  
子どもにもっとエネルギーを注がなくてはならないのに、家庭でそれができていない。なんとかできないかと感じている
- ・ 孫がいますが、週休2日になって土曜日に友達がいない。家に家族が居ない時は学童保育に預けなくてはならないが、私の家には私がいるので学童保育には預けないが、近所は共働きの家庭が多く、家に大人がいないので皆学童保育に行き、一緒に遊ぶ友達がいない。缶けりなどの集団の遊びを覚える機会がない
- ・ 子どもを安心して任せて遊ばせる場が欲しい。  
日頃は家に閉じこもってゲームなどで遊んでいる。今日は6時の火の用心が終わってから池に餌を撒きに行くといってイキイキしていた。こういった目的があれば、家でぼーっとテレビを見ているようなことはない。今の子どもは遊びに行くというような意思が薄いように感じる。  
ただ、指導者を集めるのは大変だと思う。
- ・ 遊び場の確保が謳われていますが、西伯小学校の近辺にも緑のある遊び場がありますが、草刈がされておらず、ベンチ等も鳥の糞などが酷い状態です。こういった場所の管理はだれがしてくれるのか、親の個人学習とは具体的にどこか、一貫した子育てプログラムとは、西伯町の児童相談などで、子育て経験のない若い保健婦さんが相談員をしており、相談をしても当たり前前の答えしか返ってこない。現状こういったことはおかしいと思っている。
- ・ 幼児と高齢者の交流というのですが、保育園などに高齢者を呼ぶということでしょうか、それとも別の機会を設けるということでしょうか。  
正しいことを教えるとか、幼児期のものは1つ1つやったからといって、それがすぐ子どもに見に付くというわけではありません。ただ(子どもと)接していく中で、子

どもの中に感覚的に残るものが、将来良い方向に向かっていくのではないかと思います。

- ・ 高齢者の知識を生かすのは、今置かれている状況では一番やりやすいと思います。暇な人というのは年寄りだけで、ほかの世代の人は忙しい。年寄りの人はある程度暇があり、実際に出てそういう活動をするのは年寄り自身の喜びにも繋がると思います。
- ・ 幼児への知識の伝達というのは大事。保育士さんなどのアプローチも必要となってくると思いますが、良い社会勉強としてもっと推進して欲しいと思います。

## 人づくりの推進

### <生涯学習の推進>

- ・ 地域には割と趣味などの達人、優秀な技能をもつ方がたくさんいる。その人たちの力を十分発揮できる環境をつくりたい。  
花づくりの達人な方がいるなら、その方を中心としてガーデニング等の教室を開いたり、現在も活動されている方はいるが、予算的な裏付けが薄い。茶菓子程度の予算でもつけていただければもっと活動が活発になるのではないかと思う
- ・ インターネットに興味がある。西伯町の公民館にはパソコンが設置してあるが、会見町にも充実させて欲しい
- ・ 仕事柄日頃から IT に接する機会が多い、公民館などに IT の整備を是非してほしい。  
生涯学習は人と人が出会うことが基本だが、サラリーマンなどは時間的に難しい。インターネット等の利用によって、自宅などで最高の学習環境を得ることができる。紀伊国屋などでは既に一流の教授達に渡りをつけているらしい。  
そうでなくても、個人が自宅での家庭菜園の作り方など、特殊な作物の場合でも IT によって全国ネットワークでの栽培講座の展開などが期待できる。  
そういった恩恵の受けられる社会基盤づくりを
- ・ IT 時代はすぐそこ、もう既にやっておられる人はやっている。独居老人の方などの、自宅での手続きに IT を活用することなど必要。  
教育部会であれば、IT 講習などの機会を提供してほしい。  
その中で、人と人の直接のふれあいの確保も必要。IT のみに頼っていては、ますます引き籠ってしまう。利便と問題の 2 面性を踏まえつつ IT というのは外せないと思う
- ・ IT に関してですが、私ぐらいの年代になるとなかなか難しい。2 年前に 60 の手習いで教室に行って、やってみると面白いです。指 1 本で打ってもインターネットには繋がるので。今公民館などで教えていただけますが、行くと本当にプロ並にきちんと教

えていただけますが、そういった教え方はつらい。文章なんて打たなくていいから、先にインターネットをやってみるとかいったほうが良い。おもしろいし、おもしろいと覚える。町としてパソコンなどを皆が使えるようにするという時代が来るんでしょうが、若い人や子どもは順応が早いですが、ある年代から上の人、60 ぐらいから上は、本当に最初に見た時にはこれって何をやるものなんだみたいな感じでちょっと怖かったので、本当に一番簡単なところから教えていただくシステムをつくっていただければと思います。本当に何もわからない高齢者を対象とした IT 教室というものを気長に教えてくださる方を。

- ・ 桜花塾には木工とか陶芸とか、いろいろなものがあるって、おもしろいシステムだなと思います。
- ・ 成人の場合は、それこそ自分でやろうと思えばできる環境にあります。公民館を見てもいろいろな講座があったり。ただ、私たちも既に高齢者の部類に入っているとは思いますが、いまだに現役で仕事をしています。そうすると、平日の午後 2 時から 5 時までの講座には行きたくても行けない。60 代前半の人は大体皆仕事をしているのが普通。私の職場にも 69 歳まで勤めておられた方がいました。この年になると、もう孫も構わなくてもよいし、何かしたいなと思っても、日中には外に出られない、夜だったら出られません。若い人だけが夜動くようですが、年寄りも夜動きたいと思っています。講座などを平日の夜に開講するといったことはできないでしょうか。
- ・ 野菜栽培の講習会を地元で行なっていますが、20 名程度がコンスタントに出席しています。これはそのまま続けていけば良いと思う。西伯町は西伯町で続けていけば良いと思います。無理に一緒にしなくても、おいおい両町の良いところを取り入れていけば良い。
- ・ 移動図書館を推進することになると、図書館の人員を増やすことが前提になると思いますが。
- ・ 今は西伯町だけですが、合併後はもっと広い範囲を網羅してサービスをしていかなくてはならないので、今の人員では絶対に行き届かないと思います。  
（今図書館がある）場所が西伯町ですから、会見町側にもっとサービスができるようにしていくことが、図書館としては重要になってくると思います。そうすると、絶対に人員を増やしていただかないと、せっかく図書館があっても、恩恵を受ける人がほんの一部ということになってしまうんじゃないかと思います。
- ・ 移動図書館をやるメリットを考えた場合、車が必要になってくるし、人件費も必要になります。そうであれば、こういう本がありますというパンフレットのようなものを配って、電話等で申し込みをすれば届けるといったようなサービスの方が逆に費用がかからないだろうし、移動図書館となると、大きな町になるので、（車）1 台というわ

けにもいかないだろうし、無駄な税金を使うようなことになってはいけないので、もう一度検討された方が良いのでは。

- やっぱり本というのは手にとって見るのが非常に重要なので、パンフレットとかそういう部分だけではカバーしきれないものもあります。子どもは特にそうですし、手にとって選ぶというのはとても大事なんです。
- 専門の職員がおられて、専用の館長さんがいないとだめです。他町で図書館の建設に関わっていますが、小さい自治体ではなかなかそれができない。けれどそういったことは絶対に必要。片手間では絶対にできません。きちんと考えていく必要があると思います。

- 先日、協議会の本会議で提案をしましたが、事務处理的な話し合いの進め方が主流となっていて夢を語る場ではないので、まちづくり委員会に期待しています。新町で教育の分野からどういったまちづくりをしていかななくてはならないかを考えなくてはならないのがこの会。小さいことよりも、大きな問題を切り込んでいかななくてはならないと思う。

図書館は非常に大きな問題、知識活動の中核施設ですから。特に先進国でも日本は非常に遅れています、山陰は設置率からいうと全国レベルには到達しましたが、市町村では後ろから16番目。富山県では100%の設置率で、富山、石川、福井は非常に進んでいます。西伯郡は県下でも非常に遅れています。西伯郡内で正規の図書館を持っているのは中山町と西伯町だけです。日野郡は全町図書館を持っています。日野郡は20分間読書運動を全郡的にやったところですから、ちゃんと実績が残っています。

西伯町の今の図書館は大体1年間の貸し出し冊数の平均が住民1人あたり4.4冊、会見町は公民館図書室の利用で、貸し出し冊数の平均が住民1人あたり1冊です。西伯町の皆さんは数から言えば会見町の4.4倍の読書をしておられることになります。非常に大きな格差があります、これ格差をそのままにして新町でやっていっていいのかどうかもひとつの問題となると思いますし、大きな町になると沢山のサービスを系統化しなくてはなりません、どうしても幾つかのステーションを設けて、交代でも良いから図書を出すことは必要ではないかと思います。(会見町)図書館の提案をつくったメンバーとして研究もしておりますので、参考として話をさせて頂きました。(岡田委員)

- 西伯町の図書館を見せてもらえばよかったんですが、これまで前を通ったことはあっても見ておりませんので。図書館というのはいろんな機能があるんですが、私は本が非常に好きなんですけれども、どちらかというと好きな本は自分で買っていました。それで、買ってみるということが多いし、前のものを引っ張り出して読むので、あまり図書館を利用していません。自分で本を買って読むことがなくなってきたので、ぜひ利用させて貰おうと思っています。

図書館を利用できる人というのは、小さい子どもを持ったお母さん、お年寄り、そういった方が一番フルに利用しやすいです。後は学校の生徒は授業で利用するでしょうし、本の好きな人は夜か休みの日に借りにいけるのが大事だと思うので、利用しやすい図書館でなくてはならない。

年寄りに関しては、今町の方でも合併した後巡回バスを検討しておられるようですが、それも含めて。

あと先進地の図書館を見に行くと、子どもが遊べるスペース、畳の間のようなものがあり、米子市の図書館も一部そういったものがありますが、そこへ子どもを連れてきて、安全というような発想が、こういった小さな田舎でこういうことをやって効果があるかどうかわかりませんが、いずれにしても、来てみて楽しいというような形があれば、繰り返し来るようになってくるので、そういったものを図書館の中へつくっていかなくてはならないと思います。

ただ本が綺麗に並べてあって、見たいものを見なさいといっても、そういった今までの運営とは違った形を考えようということを考えていく方が良いのではないかと思います。

- ・ 西伯町では教育の予算が削られ、図書館も3名から2名の体制になった、図書館はただ本を貸し出しするだけの施設ではなく、分からないことを聞いたり、図書館に来ない人へ向けてもサービスも行わなくてはならないのに、体制がこれではまならない。公民館も月曜日は朝から閉館。お金がないのは分かるが、教育・文化が切り捨てられているように感じる。町民として納得いかない。
- ・ 教育の中心として図書館というのを1つ入れていただきたいと思います。西伯町は最近ブックスタートを始めました。赤ちゃんのときから保育所、小学校、中学校と、物語を読むことだけではなくて、学習の中で疑問を感じたことを調べていくということから、今後はお年寄りになっても、こういったことに興味を持ったということ、それについての本を紹介してほしい、集めて欲しいというようなことを図書館にもって来られます。自分が本屋に言って1冊、2冊買われるのではなくて、県立図書館とかからいろいろな本を集めていただいて、そのことについて勉強をされたり。そういった赤ちゃんからお年寄りまで、人生の最初から最後まで関わっていくところだと思う。そういう意味では図書館を1つの柱として、専門の職員、熱意を持った人が必要となってくると思うので、そういったところをよろしくお願いします。

### <学校教育の充実>

- ・ 若い子の言葉ですが、「内申書が気になって教師に意見が言えない」と言っている。現実にそういったことがあるかどうか分からないが、教育として歪んでいる。少なくとも保護者の側がそう思ってしまうている。意見を言い合えるようなオープンな環境を作って欲しい。

- ・ 地域参観に参加させて思ったが、学年によってはプレハブの暑い校舎で授業を受けていた。校舎自体もガタがきており、建替えは難しくても、もう少し考えて欲しい
- ・ 学校と地域が上手くコンタクトを取って、学校の子どもの人間性を高めていかななくてはならない
- ・ 合併は効率を求めていかななくてはならないが、それぞれの風土を大切にしていかななくてはならない。大きいことは良いことだといった時代から、今は小さなことが大切な時代となった。第二小学校と地域住民の結びつきは非常に理想的。行事だけでなく授業も住民がサポートしている。
- ・ 具体的に、少人数学級を奨める、人員を配置するなど、具体的な記述をしてはいけませんか。会見町は少人数学級は低学年のみですが、他の地域では5年生まで少人数学級を採用しているところもあります。もう少し奨めるべきなのは。
- ・ 週末活動支援とありますが、これは行政が充実させていくことですが、学校では実際にどんな要望がありますか。週末活動支援に参加したいと思っていますが、リーダーシップをどこがとるのがはっきり分からない。
- ・ 学校の週休2日は、本来地域での子育てを奨めていくねらいで定められたものです。
- ・ 例えば教育委員会が学校にどうだといって、地域にどうだと聞いて、そこで活動を起こしていくというか、誰かがそれをやらないと、期待ばかりで、言葉はあっちでもこっちでも生きる力を育てる週休2日制だと書いてありますが、それを具体的に進めていくアプローチが見えてこない。
- ・ 地域の人材を活用します。と書いてあると、人を物のように使っているように感じられます。大先輩の方を地域の人材を活用するなんていう言葉はあまり好きではないので、もっと良い言い方をしてください。
- ・ 高齢者のボランティア活動といった文面がよく出てきますが、幼児や若い方との交流を促進するということですが、それだけのボランティアが本当に確保できるのか疑問があります。また、ボランティアで行なうのは良いのですが、児童とのこころの交流として、本当に後々まで心に残る、大きくなった時に、こういうことがあったなと思い出せるような、自分の故郷を自慢に思えるようなものでなくては意味がないと思います。それがこの文面からは見えてこない。ボランティアがこういった目的で行なわれるのが書かれていません。ただ人材が足りないから、お金が足りないからボランティアで、ということだけでなく、こころの交流などを本当に大切にすれば、そういう文面を書くべき。

### <青少年の健全育成>

- ・ 小学校、高校の子どもがおり、地域が変われば子どもが変わっている。現在は報道のような事件が起こる可能性も怖い、内々に（学生の）補導が多いなどの話も聞いている。テレビだけの話ではない。
- ・ 子どもの教育の前に親の教育をすべき。親を教育して、それを子どもへと繋げていく
- ・ 子どもの親を育てたのはちょうど我々の世代。今の親を我々が育てている。こうなってしまったのはなぜか
- ・ 別居の問題ではないか。  
お互いに干渉のない我侘な生活をしている。祖父母のいる家庭の子どもとそうでない子どもには大きな違いがあると感じる。
- ・ 昔は祖父母の後姿を見て育っている。  
教育は子どもばかりではなく、まず自分を教育していかななくては
- ・ 今、自分の子どもも夏休みですが、昔はラジオ体操があって、参加したら判を貰って、それがうれしかったんですが、今はラジオ体操も宿題じゃないからしないとか、うちの子どもは1年生なんですけど、学校でラジオ体操を習わないからラジオ体操を知らないと言うんです。  
要はスポーツ、文化、交流と書いてありますが、ラジオ体操だって立派なスポーツだと思います。交流といえば、地域の子どものみだけでなく、高齢者の方から皆集まって、朝からラジオ体操するだけでも、ひとつの触れ合いができますんで、そういったところからの教育というのが、本当は一番ではないのでは。それが一番の教育であり、交流であり、その年寄り、高齢者の方も来て、若い子も来て、そこでいろいろな、昔はこうでみたいな話もできるので、本当に一番大事なところというのはそういったものではないのかな。  
確かに勉強も大切かもしれないけれど、勉強よりは自分の子どもが小さいからそう思うのかもしれませんが、そういった所を育てた上で、その基礎が出来ていないのに次に行っても、社会には輪があるので、その中の脱落者と言っては変でしょうが、そういった形になってくるでしょうし、私は横浜に10数年いたんですが、昔こういった、ラジオ体操ではないですけど、今思うと、高齢者の方と自分たちの子どもと一緒にラジオ体操をした、カブトムシを採りに行ったとか、そういった思い出があるからこそ、またある程度の年齢になった時に、ふるさとにはよかったなあと思って、ふるさとに貢献とまではいかないでしょうが、また帰ってきたいなあとか、そういった思いを馳せる若者が増えれば一番良いのではと思います。
- ・ 青少年と異年代の交流の場づくりに努めますとあるので、“郷土を愛する～”といったことは、ここに入るのかなと思いました。どういう立場で学校にお手伝いに来ていた

だくかといったときは、もしかしたら豊かな経験とかを話し合ってもらったりするためには文言の入れ替えを。

- ・ 週5日制になり、土曜日が休みになった。現在会見町で囲碁クラブという活動をしています。去年の子どもは非常に優秀で、一生懸命教わっていたが、今年入ってきた子どもは騒いで囲碁を教えるような段取りにならない。子どもがおとなしくしているわけではないので、騒がせておいて、その中からよいものを指導していけば良いと話しますが、月2回程度の活動では前に進まないと言っています。  
囲碁を知らない子どもに基礎から教えるのですから、月2回では無理がある。初めに教えたことも15日も先になったら最初にならなことを忘れていくということになります。ですから、少なくとも1週間に1回、1時間でも良いので進めていくような方法はとれないかと思います。  
子どもは塾などで今非常に忙しく、時間が取れないといったこともありますが、新しいことにチャレンジしようとする意欲は買ってやる必要があると思っています。
- ・ 新聞にもありましたが、鳥取県の不登校率というのは全国でも非常に高い。こうやって考えてみると、自分たちは小さい頃スポーツ少年団などに結構入っていて、中学に入ってから、それなりにスポーツなどをやっている。大体スポーツか金管バンドとか楽器をやっている子が多かったですが、その辺りでぶらぶらしている子どもというのが多く見られた気がします。  
その中で、水泳もいわれていましたが、小学校の県大会などで1位入賞している子も結構います。その子たちは中学校に入ってから活動する場がないので伸びない、ようするにそういった施設が充実していない。野球にしても西伯町が何かの大会で優勝して県大会などに出ていましたが、中学校に入ってから野球はどこでしているのか。町のグラウンドは今汚い状態になっており、練習もできないだろうし、指導者がどういった指導をされているのか分かりませんが、やる気も起きない状態だと思います。やはりそういったところの整備からしていかなないと、学業の充実はもちろん、先ほど言われたように学業の充実とスポーツの充実は天秤にかけたものだと思うので、指導者も勿論設備の充実というものが本当に必要なのではないかと思いますので、その辺りを議論していただきたいと思います。

#### <地域文化の振興>

- ・ 会見町は文教施設が願望。ぜひ実現を。具体化しそうな時期に福祉施設が出来て上手くいかなかったが、ぜひ実現を
- ・ 総合的な施設整備について検討しますと書いてありますが、地域文化振興のため、総合的な施設の整備をするということですか。施設と言ってしまうと、何か建物なのか施設なのかといった話になってしまうんですが。
- ・ 文化ホールとかそういうことかなとも思いますが、もう少し違う書き方があるんじゃないかと



ないかと思えます。

振興のために、ハードもソフトもなのかということです。これだとハードだけなのかと思えます。

- ・ 文化ホールのような大きなものを1つつくるのはいかがでしょうか。
- ・ 質の高い芸術文化というのは、体育館でやっても質の高いものにはならない。質の高いものを町民に提供する、多くの人々が享受できる場を提供しますというのだったら、やはりきちんとした演じられる場を設けて欲しいという要望を出しておかなくては、いつまで経ってもできない。
- ・ やはり今言われたように、本当のことをいえば、プロが来て歌うとしても、同じ歌を歌っても田園スクエアで聞くのと、米子の文化ホール等のきちんとした音響効果のある場所で聞くのでは全く違って聞こえます。ということは、質の高い文化、音楽にしても芝居にしても、小さくてもよいので音響のきちんとしたところできちんとした音楽を聞かせてやりたい。  
どんなものであれ、音楽とか芸術は本当にきちんとしたものの中でないとわからない、下手な歌でも公会堂で歌えば上手に聞こえる。音響がいかに大切か。米子市公会堂は大改修をしましたが、それだけの必要があったから。今と昔で同じ歌手が来ても違って聞こえる。上手になったのではなくて音響が良くなったから。  
来年、再来年に作れとはいいいませんが、将来的には小さくてもきちんとしたものが欲しいと思えます。
- ・ 文化ホールの意見に水を注すわけではありませんが、実際他市町村でどちらもつくっておられるところは運営や管理に大変困っていると聞いています。  
両町で文化というものがどんどん盛り上がって、大きな施設で毎月コンサートを聞いて、といったような状況が生まれるのであれば、やるべきだろうと思えますが、例えば現実に西伯町の中の板祐生記念館にしても、大変な文化で大事にしなくてはならないと思えますが、なかなかわき起こってこない。東京だとか遠くの方は興味を持って来られますが、町民自体からはわき起こってこない状態なので、文化ホール建設に傾くというとは非常に心配です。  
ただ、逆に非常に住民の人が喜んでいただく図書館というのは、よくお子さんをお持ちの方などは図書館がある分だけ西伯町が良いという意見を特によく聞きます。そういった面からすれば、図書館の充実とか、子どもの待ち合わせの場所が図書館であるというのは、インパクトもあるし、住民皆さんが恩恵を受けると思う。  
順番とかいろいろなものがあると思えますが、教育部会の中でその辺りを十分に論議した方が良いのではないかと思えます。決める場ではないのかもしれませんが。
- ・ 賛否両論いろいろな意見があると思えます。ホールで必ず話しが出るのは、じゃあ後のお金はどうするのということ。成功しているところはほとんどありません。でもそ

これは地域の文化を大事にするかしないかだけ。文化でお金が儲かることは絶対にないですから。これはお金をつぎ込んでいかななくてはならないものです。公共としてつくる必要があれば、やらなくてはならないと思います。

だけど、良い音響で良い音楽を聴くことはとても大事だとは思いますが、じゃあ本当にそれで全部の町民みんながそれを利用するかということは、やっぱり少し調べてみる必要があると思います。

同じことになるかもしれませんが、図書館もそうだと思いますけれど、物をつくるときに話し合いの場というのがほとんどありません。何か知らないうちに物が出来てしまっている。だから、公共建築を作る場合には話し合いというようなシステムをきちんとやっておく必要が絶対にあると思います。

例えば、物をつくるときに、コンペでやるのか、指名入札でつくってしまうのかというものも一緒だと思います。作るのであれば、皆が賛成しないとやってはいけないと思います。お金の問題、文化の問題、全部一緒です。こういった話の場があれば良いのですが、今までそういったことはほとんどなかったと思いますから、そういったことをここで書くかどうかです。

つくる以上はシステムをきちんとやってください。設計をする人間もきちんと選んでください。みんなの話し合いの上でできていないということを常に感じてきているので、こういった機会にみんなで話し合っつくるシステムを確立しておくべき。すごくお金のかかる問題なので。

- ・ 西伯町の場合は独立した図書館がありますが、会見町の場合は公民館に併設の形で少し本があるだけの、学校図書館に毛が生えている程度の図書館です。

西伯町は年間に4.4冊を町民が読んでいて、会見町は1冊、図書館の利用率からいってこうだと思うんですが、逆に言えば会見町は読書家が多いということになります。だから、西伯町に独立した図書館があるということになれば、会見町にも小さくても独立し図書館を作ってほしいという気がします、それに併せて文化ホールみたいなものでも。文化ホール単独でつくるといって抵抗があっても、図書館と文化ホールを併設したものとなると考え方も変わるのでは。

先ほど言われましたが、体育館で音楽を聴いても音が割れてしまってどうにもなりません。家でビデオをみていたほうが音響が良いような状況下で質の高い文化を享受できるようにしますと言っても、言うだけの空念仏に終わってしまいます。やはり施設はぜひとも欲しい。

そのもので赤字が出る、赤字で維持管理が難しいというのであれば、それはそれで知恵を絞ればよいのではないかと、始めから赤字が出ることはわかっているので、それをどう縮めていくことができるのかという事を考えてやっていかななくてはならないのではと思います。

箱物をつくったら維持管理をどうするかということは出てきますが、それは工夫の仕方減らすことができるんじゃないかと思います。

- ・ それに関して、採算性が難しいというのは事実で、会見町でも文化施設をつくらうか

とあちこち視察に回りましたが、広島県の山奥の吉田町にはすごい文化ホールがあります。あんな田舎にあんなものを作ってどうするのかというのがありますが、たまたま採算が上手く行っているのが島根県にあります。そこは文化ホールをつかって、それを業者に委託している。専門業者が営業の形で文化的な活動をしています。だから、両町が合併して文化ホールをつくっても、単に町民のみを対象としてもものでは全く採算が合わないと思います。画期的なイベントをして、米子からでもぞろぞろ人が来るような考えを、文化ホールみたいなものの一つの姿としては浮かんでくるのではないかと思うのですが。

今より少ししか変化しないようにして、損をしないようにして、姿だけはつくろうかと言ってもいけないと思うんです。やろうと決心したらそれだけの体制をつかって、取り組んでいかななくては。

もちろん最終的には採算性もある程度は保持しなくてはならないと思いますが、可能だと思います。

- ・ 関連してですが、先ほども少し話しましたが、私は他町村で図書館の建設に関わっていますが、非常に困っていることが1つあります。どういうことかという、館長がいない、司書もいない、何をかってよいかわからない。その状態で物を作れと言われると、どっちに向いていいのか全然わからない状態です。

私も滋賀県に見に行ったりかなりの図書館を見ていますが、活発な図書館というのはどこも館長がすごい。プライドをすごく持って競争をしています。滋賀県はすごくて、貸し出し冊数にしても年間12~15冊位いています。そういった図書館というのは、本だけではなくて、違う部分がすごいんです。どうしてそういったことができるかという、計画をして物を作るまでに2、3年かけている。それくらいやらないと、住民も一致団結して図書館ということに行かないんです。さっき言ったように、じゃあやりますよ、どうぞということにはなかなかできないんです。

ですから図書館をつくるのであれば、まず館長はきちとした人を決める、それからそれに付いていく人をきちんと決めておいて、それから次にどういう図書館に向かっていくんだよとやらないと、絶対にだめです。つくってから、どうぞ使ってくださいというのは無理です。

今非常に苦労してワークショップを4~5回していますが、なかなか纏まっていかない、個々がああだこうだ言っていてどうしようもないんです。その中で、1つだけ決まっているのが、書庫をつくるのではなくて図書館を作ろうということ。本を置くところを作るわけではない。本を置くところをつくるのであれば、空いた会議室のような場所でもいいわけですから、そうではなくて、本を借りに行かなくてもふらっと寄って、そこに行けばなにかあるよというようなものをやりましょうということにはなっています。

その後につくったはいいいけど、本当にその方向でみんなが使ってくれるかどうかというのはわからないです。基がないので。ですから、本当に図書館を計画されるのであれば、こういったことを参考にさせていただいて、時間をかけて、文化ホールにしても一緒だと思います。

そういったことをしないと本当に箱物になってしまうよということです。

- ・ 書くのは簡単だけど、実際に運用したり、詰めていったりするといろんな問題が出てくる
- ・ 身近なところで母里に立派なものできていますが、被災の後で作ったやつですけど。
- ・ 人は行っていません。結局そこがない。
- ・ 言葉としては非常に結構ですが、現在例えば 1 年間にその言葉に該当するような行事がどの程度行なわれていて、これはそれをどの程度まで高めようとしているのかなどが見えてきません。こうありたいというのは結構ですが、例えば音楽や演劇というものは、町主催で音楽会などをしてしています、そういうものをもう少し広い範囲のものをやるとか、回数を増やすとかいうことを目指しているんでしょうか。どの問題もですが、現在がどうなっていて、それをどのレベルに上げようかという目標が見えてこないレベルアップはできないのではないのでしょうか。そうすることによって予算的なことや種々の活動形態が見えてくるのではないかと思います。
- ・ 地域資源を活かしたイベントは、非常に良いことですが、実際どういったものが活用できるかになってくると思います。こういったものはあまりお金もかからないので、どんどんやってもらいたい性質のものだと思います。
- ・ 板祐生出合いの館だけではなく、田舎に田舎臭いものがある、さっきお茶を飲むところもないと言われましたが、そういった視点が欠けています。
- ・ 出合いの館は広島に抜ける道にあるので、結構通りも多い。でもあそこにそういったものがあるというのをみんな知らないと思います。
- ・ ですから、きちんと企画、PR のできる人を配置しなくては、箱をつくってもだめです。プランを立てたり、経営をしたり、学芸員というのは非常に高い資質を持った人です、博物館に置くマエジメントする人です。そういった企画力がない人はだめ。そういった人がいないから、せっかくいいものがあったとしてもアピールできない、図書館にしても一緒です。

### <スポーツ振興>

- ・ TV などで紹介があったがドイツのジュニアサッカーチームなど外国では、わが町のわが子ども達として子ども達の活動の場として一定の施設などの支援がある。町ごとにサッカーチームがあり、ジュニアサッカーのチームもその下部組織として地元で運営されている。

子ども達の活動の場の提供はボランティアでは限界があると思うので、受益者負担で

行なうべき。他の国は受益者負担。これはきちんと組織化されたものがある。町に指導者の報酬も保護者がお金を出し合って支払っているし、ユニホームなどもきちんとしたものを入団時に保護者が負担して作っている。

お金を払うことで、指導者も責任をもって指導し、子どももお金を支払っている分吸収しようと思う。

自分の町の自分たちの子ども達を、少なくなる子ども達をどうやって育てていくか検討してほしい。

2町の範囲が小さいならば、他市町村との合同で行なっていくのも良いと思う

- ・ 現状の子どもの活動支援は、教育委員会が種を蒔いて育てていきますが、切り離して考えられないか。  
保護者の組織、団体が運営を行なっていくなど。そうしていくには保護者も頑張らなくてはならないが、我が子のこと。
- ・ 現在は指導者が指導した子ども達が、また地元に戻ってきて指導者となるなどの回転・循環の形がなくなっている。大学など都会に進学し、帰ってこない。  
私も米子で指導者をしているが、どこの指導者に聞いてもそう。  
保護者がお金を負担して、というのではなく、子ども達が地域で育って帰ってくるという形が上手くいかないことが問題だと思う。  
都会では比較的上手くいくが、田舎ほど上手くいかない。
- ・ 例えば会見町では剣道が盛んで、大きな大会にも出場したことがある。米子市などでは野球などをかなり強制的に指導しているようだが、そういったことをして、地域としてどれくらいの価値があるのか、どんな目標で行なうのか
- ・ 受益者負担というのは新しい発想。今はなんでもかんでもボランティアに頼ろうとするが、それには限界がある。  
負担には本気の姿勢が感じられる。勝ち負けではなく、本気でスポーツを楽しんで、それを継続させていく。お金を出して、親がそれを本気でやるという考え。(橋谷委員)
- ・ 会見町では剣道を一所懸命していますが、スポーツばかりではなく他の事も。学校で習うこと以外のことを習うのは良い。  
各児童の保護者が指導者の報酬を支払うのは良いと思う。  
私の子どもは今柔道をしています。各家庭 1,000 円で 2 時間程度。幼稚園から高校生ままで、皆一緒に気持ちで頑張っている。挨拶なども非常に良いし、そういったことを企画していくのは良い。  
スポーツならば野球もサッカーもある。校区では人数があまり少ないのは難しいが、他の校区であってもなにかあれば参加したい。
- ・ スポーツ少年団も良いが、その運営方法についてボランティアに頼るのではなく、ボ

ランティアは非常に高い精神構造だが、人に頼るばかりでなく、負担しあう受益者負担を。

子ども達に責任や自立を示していくためにも、そういった負担は必要ではないのかなと思う。

ボランティアだと意見も言いにくい部分があるが、意見も言い易くなるし、参加もし易くなるのではないかな。

- ・ (ドイツのジュニアサッカーのような運営形態は) 必ずしも賛成できない。  
一つの集団から下方へ下方へとやっていくのは、そこから外れてしまうと除け者にされてしまう恐れがある。  
スポーツでも研究でも、取り組む過程が子どもを育てていく。それがあある一定の方向だけを向いているというのは好きではない。  
子どもの内はそれぞれにさまざまな活動をしていって、大きくなってから集団に所属してやっていけば良い。スポーツがしたければスポーツを、勉強を頑張るなら勉強をなどそれぞれ。  
米子の少年野球なども関心しない。結構しごいて親も頑張っているが、そこからプロを育成していくなどの目的ならばそれはそれだが、教育というなら違うと思う。
- ・ 相互の負担の例としてドイツのシステムを例にした。子ども達のスポーツに限らず、活動できる団体。保護者も責任を持って参加できる団体を、子ども達が活動できる場をもっと提供できるのではないかなと思った。
- ・ 月曜から金曜までは学校を頑張り、放課後、土日は地域の学校のような組織、形態の中で子育てをしたい。指導者は隣のおじさん、おばさんが知識などを駆使して。負担と労力の負担しかカバーできない親のために労力は地域全体でカバーできる体制を。全地域を対象としたり、特定の地域を対象としたりして、活動を行政が面倒見るのではなく、半分なりとも受益者負担で賄うなどの体制をつくっていききたい。
- ・ スポーツ指導者の養成に関してですが、こういった形で養成するとかいったことは決まっていますか。実際に福祉センターしあわせで問題になったんですが、水泳の育成コースがあるんですが、何年かしていましたが、結局指導者がおらず、やめるやめないの騒ぎになりました。  
指導者を育成しようと思えば、何年かあったはずなのに、2年程度か、そういった形でできたと思うんですが、結局指導者がいなかったためにごたごたが起きて、何回か保護者も集まって話をしたと思います。  
指導者の養成と書いてありますが、それはすぐにできるものじゃありません。前もって2,3年かけてしないとイケないのに、ここに書いてあるだけではどういうふうに養成をされるのか、外部から連れてこられるのか、指導していくのかというのがわかりません。書くのは簡単ですが、実際に問題が起きたこともありますし、私も詳しくは

わかりませんが、指導者がいなくなってしまったというのは、ただ書いてあるだけなんですか。

- ・ しあわせでプールの指導をしていた方が臨時での雇用だったので、別のところに正職員で採用となったので、後任が居なくなりました。結局指導者を育成しようというものが元々なかった。

他のスポーツでも、ずば抜けた力を持った子がいても、他自治体の中学校とかに本当にスポーツをしたい子は移って行ってしまうのが現状だと思います。西伯町でそういった子どもが育たないというのはここ何十年も言われていることだと思います。それができていないのに書いてあっても結局できないんじゃないかと思ったり、文化の板祐生記念館にしても、PR しても見物した後に少しお茶を飲もうといったような場所もありません。緑水湖の周辺施設に入って飲もうというのも、あまりおしゃれな感じでもないから、わざわざそれだけのために行こうという雰囲気ではありません。

アンパンマンミュージアムを見にすごい田舎に行ったんですが、周りは本当に公園のようになっていて、行ってよかったなと思いました。西伯町で板祐生がいいよ、と来てもらっても、そこだけで終わりというのがあるので、それを考えずに充実しようとか書いてあっても文章で終わってしまうんだらうなというのがすごくある。

- ・ プールやトレーニングルームがあってもどうやって使えばよいのかわからなくては意味がない。使わないようなものはお金もかかるしやめたほうがいい。私たちも使わせてもらわなくてはならないとなれば、指導者はやはり育てないといけないし、雇わないと何にもならない。ただ泳いで帰るだけではプールなんかつくる必要ない。結局箱物でしかない

- ・ 高齢者のクラブがあったりとかいうのはわかるんですが、フル稼働していないともったいない。人がいないのはやっぱりまずい。そういったあたりがきちんと書いてあればその方がよい。

- ・ 最初からしなかったらよかったのに、育成コースというのがありました。あるということは、楽しみに通っている子もいて、米子からわざわざ通っていた子もいます。中の仕組みは私にもわからないんですが、ただ、育成コースに喜んで通っている子もいるのに、急にほかの教室を探しますからそちらへ行ってくださいと言われたのにすごく反感を持ってしまった保護者もおられたので。でもここには指導者養成と書かれているので、それはやってもらえることなのかと。

プールだけでなく陸上にしても、本当にやりたい子は境なり岸本なりに行ってしまいうのが現状なので、そういったものの先を考えておられるのかなと思って。ただ書いてあるだけなのかなと思ったので。

- ・ スポーツ少年団の指導者が何人かおられますが、私の子どももバレーでお世話になっています。ずっと同じ指導者の方だったんですが、仕事を抱えており、終わってから

指導されます。休みのとき試合があれば、自分をさておいてそれに出られます。ボランティアですから収入もない。他の部に関してはわかりませんが、バレー部ではそうでした。

仕事などで来たくても来れないこともあるので、他の指導者がいたら探してくれと保護者にも頼まれていたので、色々声もかけましたが、時間的余裕や休日に休みでないなどの問題があってなかなか見つかりませんでした。

現在の指導者の中で、現状こういったことに困っていると、こうして欲しいなので要望を聞かれたりといったことはあるのでしょうか。それに対して対策を立てられましたか

現状を踏まえて指導者の養成などの文章を読むと、大変難しいと思う。今の現状をどこまで把握しておられてこういった文章になったのかなと思って聞かせていただいた。

- ・ スポーツ少年団のことですが、スポーツ少年団が優秀な成績を収めた場合には、全校生徒の前で表彰をして欲しい。会見町では以前そういった形をとっており、その時にはスポーツ少年団にも活気があり、新しく入ってくる子も多かった。校長が代わられて、スポーツ少年団の行事なので、学校教育とは関係ないということで、表彰をしなくなったら、成績も落ちてきて、新入団員の確保も難しくなった。校長の裁量 1 つだと思いますが、そうお金のかかることではないので。全校集会のようなものの壇上で、この子たちは何位に入賞しました、拍手してあげてください。とやるだけで成績には雲泥の差があるということを目に銘じてほしい。

## 地域づくりの推進

### <地域振興の推進>

- ・ 会見町には町民のお祭りがあるようだが、西伯町にはそういったものがない
- ・ 一つの会場で開催することは難しいかもしれないが、2日間程度で広い範囲で「今日はここの会場で」「明日はあそこの会場で」と展開していけば、可能だと思う。  
米子市のがいな祭りなど、どこの町にも大概町のお祭りがある。良いと思う。
- ・ 新しい取り組みの発想はあるが、伝統的にやってきているものには、それなりに深い価値とレベルの高い知識が集まっている  
そういった意味では、お年寄りの間、集落の間に埋もれてしまっているものがあると思う。新しいものをつくるよりも、むしろそういったものの掘り起こしを意欲的に行なっていけるサークルなど目的集団を刺激していくことが必要だと思う。
- ・ 西伯町は春にお祭りがあり、会見町は秋にお祭りがある。西伯町の一式飾りは歴史も長く、全国的にも定着していると思う。会見町の秋のお祭りとそれをどういった形にするか。  
つくったお祭りは最初は良いが、年々マンネリ化してきて継続が難しい。その点、伝



統のある祭りはしっかり努力をして今まで残してきたのだと思う（橋谷委員）

### <その他の意見>

- ・ 新町に特色を持たせるための教育であって欲しい。教育が財政的保障を受けることが出来る町づくりであってほしい
- ・ 教育というと、理想的なアドバルーンがあがって「こうあるべき」となることが多いが、アドバルーンばかり上がっても、それを具体的に繋ぐアプローチがなくてはならないと思ったので。  
合併は世の流れで自発的なものではなく、社会の変化。しかしこれは哀しいことではなく、一つのチャンス、今までの習慣から離れて新しいものを作るチャンスではないかと思っている。地域と学校の係りというのが非常に関心のあるところ
- ・ 会見第二小学校の地元。今後会見第二小学校がどうなるのかが希望の理由。みなさんと話し合って、良い意見を第二小学校と保護者、地元を持って帰りたい
- ・ 会見第二小学校が合併後どうなるのか心配
- ・ 西伯町は地図で見ても縦に長い。東西町の子どもは西伯町に通学するより、会見町が近い。通学区はこれから大きな問題になると思う。
- ・ 西伯小学校ではスクールバスが 3km 以上で運行している。今後赤字路線の廃止などもあり、今後のバス運営が心配。
- ・ 合併したら財政も一緒になるのに、西伯町ではバス通学の補助があり、会見町では徒歩通学では不公平ではないかという意見が出るのでは。
- ・ 合併したら財政も一緒になるのに、西伯町ではバス通学の補助があり、会見町では徒歩通学では不公平ではないかという意見が出るのでは。
- ・ バス通学でも、バス停留所から家までの距離がある子もいる。交通マナーなど子どもを取り巻く環境は非常に危険。距離の問題など、西伯町では現在も論争がある。
- ・ （西伯町の福祉通学バスは不審者対策のためでもあるが）バス路線ではなく、バス停留所から家までの間に不審者が出たこともある。下手をすると停留所まで家族が迎えに行かなくてはならない。
- ・ 元々（西伯町になる前の）合併の条件として、4km 以上はバス通学という約束があった

のが基本。バス路線のない 4km の通学には補助が出た。時代が変わって、不審者対策として福祉バス運行をした。距離の問題は皆納得していないと思う。西伯町ではずっとその論議をしてきた。30 数年前の合併の条件をずっと引きずっている。

- ・ (通学) バス停留所までは自力で行かなくてはならない。バス停留所に近い子はよいが、それはしょうがない。まさか各家からタクシーという訳にはいかない。親が頑張るしかない。
- ・ (通学バスの問題は) それぞれ歴史があるので、(それぞれ) 継続するとして、矛盾が酷いなら何年かかけて一緒にしていけば良い。あまりヒステリックに一緒にしていく必要はない
- ・ 教育は大人のように自分でやれば良いというものではなく、税金をつかってやっていなくてはならない以上サービスの不均衡は話し合っていくべきではないか
- ・ 運動会は会見町が全町で西伯町は地区の開催。  
全町でやっても地区代表の家族しか応援にいかず、知らない人ばかりでつまらない。地区の知っている方が参加する方が楽しい。地区挙げてやるには活性化の一面もある、祭りも芸能の面でもそう、奥のほうの集落は特にそう。いろんなところで知り合いが多い方は全町での開催も良いかもしれないが、小さい範囲でやった方が良い。うっとしい面は確かにあるが、地域が疎遠になっている分、年に 1 回でも集まる機会を残して欲しい。会見町にも地区公民館などを作ったほうが良いのでは。  
会見町は西伯町に比べて小さいので、そういった話はあまりなかったかもしれないが。
- ・ 会見町の第二小学校校区では運動会に地区住民も参加している。それも一生懸命やるが、全町の運動会でも地域一丸となって頑張っている。全町での開催は普段会う機会のない他の集落の方に会うなど、小さいものとは別の楽しみがある。旧村で言って 7 村集まるのは大変かもしれないが、全町集まってするのも良いと思う
- ・ 全町での運動会をするなんて理想で、実際には人は集まらないと思う
- ・ 元々地域は隣近所などの小さいところから始まってそれが集まって大きくなっていく。発展していくためには大きく、まとまっていくのも大切。大きなものだけやる、部分だけやっていけばよいというものではない。小さいものがまとまって大きくなるのであって、どちらが良いとはいえないと思う
- ・ 全町一緒にやるグラウンドが現実にはない。地区代表だけとかではなく、東山公園などを借り切って、本当に全員が参加できるならば参加しようという気になる。
- ・ 方向を出さなくてはならないかは分からないが、今までの経緯があるので、急に一緒

にならなくても良いと思う。会見町は 2 つ保育園があるが、一緒にする行事は年に 2 回程度であとはそれぞれ活動している。それぞれでよいと思う。予算などの問題で一緒にしたほうが良いなら考えなくてはならないと思うが

- ・ 新町の教育委員会には今以上にしっかりして欲しい
- ・ 教育が一番目に見えにくい、結果の出にくいところにどれだけトップが力を入れるのか。その力の入れ具合というのは予算に反映していくと思う。
- ・ 不足な箱物が出てくると思う、そういった時に現行の施設をなるべく活用して、お金を使わないようにして欲しい。どうしても建築が必要な時は積極的に情報を公開して皆の同意を得て欲しい。  
住民が判らないうちに建築してしまって、さあ使えではだめ。そういったやり方では箱物、箱物と批判される。合意をしっかりと取って欲しい。
- ・ 学校の中でも、安全衛生の推進責任者を決めようかなどということが出てきたりしているわけですが、私は製造業のようなものに携わっていますが、安全衛生というのは最重点の項目です。あらゆる時に（安全衛生が）どうなっているのかを常に考えています。だから、安全な生活の確保という分類を見ると、施設の耐震工事というのは、学校の施設に関する事で、安全に対するほんの一部のことしか指していないように感じます。  
生徒の安全というのは、例えば水泳をやれば、水泳のときに（安全を）どのような形で確保するのかとか、そういったことがいっぱい安全という言葉から幾らでも出てきます。むしろこの文言で耐震工事のみが記述してあることの方が非常に異な感じがします。
- ・ 安全性の中で、今結構大きな問題になっている、池田小学校のような防犯は。
- ・ 論議をしていて、基礎はやはり現状の把握とそれをどうしたいといった目的とがはっきりして文章が出てくるべきことです。文章は文章で踊ったって大した意味があるのではなくて、現状を常に把握していることが統括する教育委員会の仕事ではないかと思いますが、例えば教育委員会のだれそれに会って聞くと、どここのバレーボールの問題点は今なにで、何です。というのがぱっと出てきて、本当はこうしたいけど、こうだといったものがきちんと掴めていないといけないんじゃないかと思います。ところがそれだけが業務ではなく、他にも業務があるんだという言い方をすると、そうでなくなるわけです。  
そうであれば、問題を感じた人がそれはどこどこに話しをすればそこが解決してくれる窓口なんだという形にしておくと、現状をどうレベルアップしていくのかという取り組みにしていけないといけない。それで初めて予算だ人だの話になっていくので、意見を今後の具体的な活動の中で生かして欲しい。常に現状把握と理想を考えて。そ

れがなくて文章があっても意味がない。

- ・ 建設計画が出来た時点では、要は町の上層部の意見ですよ。それをまたこういった会か何かの集まりがあれば、町民の本当の意見を聞いて、要はこれはこういう形になったけど、これでいいのかといった問いかけはあるんですね。
- ・ 最近はいろいろ支援していきましようとか、周りの保護する体制とか、助けていこうとする体制がすごく整いつつあって、そういったところには皆がどんどん力を注いでいくんですが、その中でもっと自分たちがしていかななくてはならないのは、支援はされるけれども、1人1人が家庭の子どもも親も、どれくらい自立しているかということ。自分のことに責任を持って自分のことができていく個人であることを育てるといったような、家庭とか地域とか学校とか、その辺りの連携がどんなふうにできるのかなど。みんながこうしていきましよう、助け合いましよう、助け合いましようになって、本当に助けられていくというだけでも、助ける人も助けられる人も自立した個であるような育て方や育ち方とかそういったことが支援できる地域であったり、学校であったり、家庭であったりするようなことがしたいと感じています。  
具体的でなくて難しいかもしれませんが、もっと責任を持った個人でありたい、そういった子どもを育てるにはどうしたら良いのか、家庭でどんな言葉をかければ良いのか、地域でどんなことができるのかというのを、例えばスポーツ団体であったり、教育委員会の事業であったり、学校教育であったり、それを家庭に問いかけるような、教育委員会が行われる家庭教育の教室であったり、そういうようなことができるトータルで全体がそういうものを仕組めたらいいなという気がしています。